

市民会館・公民館の状況

IV 市民会館・公民館の状況

1. 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化的活動に対応しつつ、教育機関としての機能も果たしていく施設として、昭和52年6月に開館した。

福生市民会館・公民館 福生市福生2455 電話 52-1711

敷地面積 4,937.07㎡

建築延面積 6,771.25㎡

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

職員 12人

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

(1) 松林分館 福生市武蔵野台1-15-1 電話 52-3624

敷地面積 1,104.98㎡

建築延面積 564.30㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職員 3人

(2) 白梅分館 福生市熊川559-1 電話53-3454

敷地面積 2,158.03㎡

建築面積 570.59㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職員 3人

2. 文化施設（茶室）概要

この茶室は、純和風造りで、茶道を始め、華道、俳句、その他の会合等、多目的に利用できる施設として平成5年7月1日に開館した。

茶室「福庵」 福生市熊川854-3 電話 30-7177

敷地面積 10,224.83㎡ (茶室部分935.81㎡)

延床面積 157.99㎡ 木造平屋建銅板平葺

シルバー人材センター管理委託

3. 平成6年度 福生市市民会館・公民館利用状況

施設名 区 分			月 別			4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			合 計		
			有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数			
市 民 会 館	ホ ル	大 ホ ー ル	29		29	14		14	27		27	18		18	18		18	45		45	37		37	52		52	25		25	13		13	23		23	40		40	341		341			
		小 ホ ー ル	23		23	30		30	20		20	46		46	23		23	33		33	23		23	33		33	21		21	19		19	23		23	26		26	320		320			
		小 計	52		52	44		44	47		47	64		64	41		41	78		78	60		60	85		85	46		46	32		32	46		46	66		66	661		661			
	集 会 室 等	リ ハ ー サ ル 室	11	4	15	6	7	13	6	17	23	2	7	9	12	0	12	16	29	45	5	20	25	20	29	49	2	21	23	0	5	5	9	5	14	9	20	29	98	164	262			
		第 1 集 会 室	14	29	43	16	25	41	19	40	59	19	39	58	10	28	38	20	32	52	13	42	55	9	45	54	10	27	37	5	27	32	14	29	43	14	37	51	163	400	563			
		第 2 集 会 室	9	32	41	18	29	47	13	47	60	17	46	63	21	28	49	16	43	59	15	48	63	15	45	60	9	33	42	16	31	47	13	44	57	14	44	58	176	470	646			
		第 3 集 会 室	14	44	58	6	38	44	5	46	51	3	56	59	2	43	45	9	51	60	5	57	62	12	45	57	6	37	43	13	28	41	10	43	53	6	47	53	91	535	626			
		第 4 集 会 室	12	42	54	5	50	55	10	4	14	0	3	3	5	39	44	7	52	59	15	51	66	5	50	55	5	44	49	8	33	41	5	46	51	7	47	54	84	461	545			
		第 5 集 会 室	12	46	58	2	44	46	1	3	4	0	3	3	0	42	42	0	56	56	8	58	66	2	56	58	5	45	50	7	34	41	3	45	48	5	53	58	45	485	530			
		第 6 集 会 室	18	29	47	13	27	40	8	48	56	4	39	43	16	22	38	15	45	60	12	51	63	6	46	52	5	32	37	4	26	30	5	27	32	5	43	48	111	435	546			
		第 7 集 会 室	11	31	42	13	26	39	8	47	55	2	39	41	9	22	31	15	45	60	8	51	59	4	46	50	5	31	36	4	26	30	5	27	32	5	43	48	89	434	523			
		第 8 集 会 室	12	8	20	15	7	22	20	10	30	21	16	37	22	9	31	24	21	45	22	23	45	15	29	44	20	5	25	21	6	27	23	11	34	19	18	37	234	163	397			
		展 示 室	0	6	6	0	2	2	0	4	4	0	4	4	8	1	9	5	14	19	0	25	25	0	19	19	0	0	0	2	1	3	0	1	1	3	35	38	18	112	130			
		小 計	113	271	384	94	255	349	90	266	356	68	252	320	105	234	339	127	388	515	103	426	529	88	410	498	67	275	342	80	217	297	87	278	365	87	387	474	1,109	3,659	4,768			
		計	165	271	436	138	255	393	137	266	403	132	252	384	146	234	380	205	388	593	163	426	589	173	410	583	113	275	388	112	217	329	133	278	411	153	387	540	1,770	3,659	5,429			
公 民 館	調 理 室	1	17	18	6	22	28	9	34	43	5	26	31	3	32	35	5	24	29	7	40	47	10	32	42	4	26	30	6	16	22	12	30	42	5	36	41	73	335	408				
	美 術 室	0	25	25	0	25	25	0	36	36	0	21	21	1	27	28	2	28	30	2	44	46	2	32	34	0	23	23	2	18	20	0	30	30	0	31	31	9	340	349				
	音 楽 室	7	27	34	11	29	40	10	28	38	11	32	43	8	34	42	7	41	48	9	43	52	6	40	46	10	36	46	5	31	36	9	35	44	3	43	46	96	419	515				
	視 聴 覚 室	1	37	38	5	38	43	3	50	53	0	35	35	0	26	26	2	39	41	6	44	50	5	44	49	0	39	39	5	27	32	1	39	40	4	36	40	32	454	486				
	児 童 室	6	22	28	0	16	16	0	25	25	0	24	24	0	12	12	5	28	33	0	35	35	0	38	38	4	23	27	2	24	26	1	31	32	1	23	24	19	301	320				
	計	15	128	143	22	130	152	22	173	195	16	138	154	12	131	143	21	160	181	24	206	230	23	186	209	18	147	165	20	116	136	23	165	188	13	169	182	229	1,849	2,078				
合 計			180	399	579	160	385	545	159	439	598	148	390	538	158	365	523	226	548	774	187	632	819	196	596	792	131	422	553	132	333	465	156	443	599	166	556	722	1,999	5,508	7,507			

平成6年度 松林会館利用状況

月別 開館日 数 分 部屋別		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
		25 日		23 日		26 日		27 日		26 日		24 日		25 日		24 日		23 日		23 日		23 日		8 日		277 日	
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
大 集 会 室	主催	5	88	6	133	9	192	11	230	20	326	9	192	12	746	7	151	8	218	5	79	6	100	5	80	103	2,535
	一般	31	643	32	634	39	768	37	650	28	599	31	629	38	793	27	646	30	704	25	412	29	515	12	204	359	7,197
小 集 会 室	主催	5	56	10	65	25	294	17	198	8	106	12	143	18	708	21	192	19	186	10	97	19	215	9	110	173	2,370
	一般	32	449	16	217	35	531	30	414	21	318	19	262	18	203	24	298	15	200	18	252	24	334	10	106	262	3,584
和 室	主催	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	161
	一般	38	480	31	415	42	432	51	634	24	201	46	532	38	408	40	390	37	405	29	493	43	476	13	185	432	5,051
学 習 室	主催	0	0	1	15	0	0	1	15	0	0	1	15	2	563	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	6	623
	一般	30	264	27	229	29	239	23	195	24	233	23	206	25	251	22	224	16	172	19	173	22	244	8	88	268	2,518
保 育 室	主催	0	0	0	0	3	33	4	44	3	33	3	33	5	333	4	44	2	22	3	33	4	44	1	11	32	630
	一般	12	156	12	178	15	206	19	252	7	112	11	174	18	264	12	158	13	183	8	115	16	188	6	75	149	2,061
合 計	主催	10	144	17	213	37	519	33	487	31	465	25	383	39	2,511	33	402	29	426	18	209	29	359	15	201	316	6,319
	一般	143	1,992	118	1,673	160	2,176	160	2,145	104	1,463	130	1,803	137	1,919	125	1,716	111	1,664	99	1,445	134	1,757	49	658	1,470	20,411
総 計		153	2,136	135	1,886	197	2,695	193	2,632	135	1,928	155	2,186	176	4,430	158	2,118	140	2,090	117	1,654	163	2,116	64	859	1,786	26,730
使 用 料	件数	件 8		件 11		件 7		件 7		件 8		件 8		件 7		件 10		件 10		件 5		件 4		件 1		件 86	
	金額	円 8,400		円 8,400		円 5,500		円 7,500		円 9,900		円 6,600		円 9,700		円 10,200		円 8,200		円 4,800		円 7,200		円 600		円 87,000	

平成 6 年 度 松 林 会 館 利 用 状 況

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	10	17	37	33	31	25	39	33	29	18	29	15	316
	人 数	144	213	519	487	465	383	2,511	402	426	209	359	201	6,319
住 民 の 社会教育活動	件 数	121	102	141	134	92	113	118	107	94	78	115	40	1,255
	人 数	1,582	1,389	1,879	1,774	1,247	1,496	1,509	1,326	1,272	1,023	1,488	518	16,503
公 共 的 団 体	件 数	14	9	8	17	8	8	8	9	8	15	14	5	123
	人 数	302	217	130	241	183	164	262	252	206	316	208	89	2,570
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企 画	件 数	0	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	7
	人 数	0	9	65	25	0	0	0	0	0	16	0	15	130
そ の 他	件 数	8	6	8	8	4	9	11	9	9	5	5	3	85
	人 数	108	58	102	105	33	143	148	138	186	90	61	36	1,208
合 計	件 数	153	135	197	193	135	155	176	158	140	117	163	64	1,786
	人 数	2,136	1,886	2,695	2,632	1,928	2,186	4,430	2,118	2,090	1,654	2,116	859	26,730

平成6年度 白梅会館利用状況

月別 開館日数 区分 部屋別		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
		25 日		23 日		26 日		27 日		26 日		24 日		25 日		24 日		23 日		23 日		23 日		26 日		295 日	
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
集 会 室	主催	件 4	人 46	件 1	人 15	件 7	人 696	件 1	人 4	件 1	人 8	件 1	人 8	件 6	人 290	件 7	人 271	件 2	人 43	件 1	人 29	件 1	人 29	件 3	人 72	件 35	人 1,511
	一般	37	840	38	724	70	608	52	925	28	544	35	677	44	685	31	509	32	671	30	638	37	782	40	737	474	8,340
会 議 室	主催	0	0	1	3	12	163	12	160	8	136	13	143	5	36	5	56	1	15	0	0	0	0	3	50	60	762
	一般	46	636	42	746	35	559	42	567	27	322	37	492	39	553	38	607	33	444	29	414	37	547	44	673	449	6,560
和 室	主催	0	0	0	0	5	45	5	42	0	0	7	104	12	272	6	144	2	80	1	40	0	0	0	0	38	727
	一般	37	599	28	434	37	567	33	469	21	401	28	451	27	364	26	320	24	321	31	306	41	633	36	585	369	5,450
学 習 室	主催	1	25	3	27	0	0	2	12	1	4	0	0	0	0	4	34	1	8	0	0	1	7	1	10	14	127
	一般	36	412	30	346	36	412	56	532	18	157	34	357	41	427	37	385	27	314	35	414	33	363	43	459	426	4,578
作 業 室	主催	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
	一般	25	215	30	238	28	384	41	498	21	357	22	128	41	422	35	189	26	416	0	0	10	40	8	80	287	2,967
合 計	主催	6	79	5	45	24	904	20	218	10	148	21	255	23	598	22	505	6	146	2	69	2	36	7	132	148	3,135
	一般	181	2,702	168	2,488	206	2,530	224	2,991	115	1,781	156	2,105	192	2,451	167	2,010	142	2,166	125	1,772	158	2,365	171	2,534	2,005	27,895
総 計		187	2,781	173	2,533	230	3,434	244	3,209	125	1,929	177	2,360	215	3,049	189	2,515	148	2,312	127	1,841	160	2,401	178	2,666	2,153	31,030
使 用 料	件数	件 1		件 0		件 3		件 1		件 0		件 0		件 3		件 3		件 1		件 4		件 3		件 1		件 20	
	金額	円 1,500		円 0		円 3,700		円 2,000		円 0		円 0		円 2,100		円 3,200		円 600		円 3,000		円 2,100		円 900		円 19,100	

平成 6 年 度 白 梅 会 館 利 用 状 況

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	6	5	24	20	10	21	23	22	6	2	2	7	148
	人 数	79	45	904	218	148	255	598	505	146	69	36	132	3,135
住 民 の 社会教育活動	件 数	174	168	205	223	114	156	190	165	139	122	154	166	1,976
	人 数	2,670	2,488	2,520	2,981	1,711	2,105	2,439	1,990	2,091	1,723	2,292	2,460	27,470
公 共 的 団 体	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	7	16
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	5
	人 数	0	0	10	0	0	0	0	20	0	0	30	20	80
企 業	件 数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	人 数	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
そ の 他	件 数	1	0	0	1	1	0	2	0	3	1	3	3	15
	人 数	2	0	0	10	70	0	12	0	75	40	43	47	299
合 計	件 数	187	173	230	244	125	177	215	189	148	127	160	178	2,153
	人 数	2,781	2,533	3,434	3,209	1,929	2,360	3,049	2,515	2,312	1,841	2,401	2,666	31,030

4. 平成6年度 福生市茶室「福庵」利用状況

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			合 計		
	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合	有	減	合
	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計	料	免	計
茶 室	回 9	回 2	回 11	回 6	回 2	回 8	回 1	回 3	回 4	回 7	回 0	回 7	回 3	回 3	回 6	回 0	回 2	回 2	回 18	回 9	回 27	回 7	回 21	回 28	回 6	回 0	回 6	回 12	回 2	回 14	回 10	回 3	回 13	回 4	回 1	回 5	回 83	回 48	回 131
松の間	21	2	23	18	2	20	11	3	14	13	0	13	6	3	9	9	3	12	22	9	31	14	21	35	15	0	15	23	2	25	20	1	21	14	1	15	186	47	233
竹の間	22	2	24	18	2	20	14	3	17	14	0	14	6	3	9	11	3	14	22	9	31	16	21	37	19	0	19	24	2	26	21	1	22	16	1	17	203	47	250
立札席	7	2	9	4	2	6	1	3	4	7	0	7	4	3	7	0	2	2	9	9	18	4	21	25	2	0	2	10	2	12	8	3	11	4	1	5	60	48	108
合 計	59	8	67	46	8	54	27	12	39	41	0	41	19	12	31	20	10	30	71	36	107	41	84	125	42	0	42	69	8	77	59	8	67	38	4	42	532	190	722

5. 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業・運営の企画実施につき調査審議する機関である。この制度は社会教育法上必置制となっており、当市の場合任期2年、定員10人で構成される。

本年度の審議内容は次のとおりである。

第1回 平成6年4月14日（木） 公民館本館

- ・正副委員長の互選について
- ・平成6年度公民館予算について
- ・公民館主催事業5月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・諮問について（公民館における生涯学習の在り方について）、その他

第2回 平成6年5月12日（木） 公民館本館

- ・委嘱状の交付について（2号委員1名退任後退による交付）
- ・都公連総会報告
- ・公民館主催事業6月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・諮問について、その他

第3回 平成6年6月9日（木） 公民館本館

- ・公民館主催事業7月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・諮問について、その他

第4回 平成6年7月14日（木） 公民館本館

- ・公民館主催事業8月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・都公連委員部会報告
- ・公連審だよりについて、その他

第5回 平成6年8月11日（木） 公民館本館

- ・公民館主催事業9月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・諮問について、その他

第6回 平成6年9月8日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業10月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・関東甲信越静公民館研究大会報告
- ・答申について(公民館における生涯学習の在り方について)、その他

第7回 平成6年10月13日(木) 公民館本館

- ・分館新任職員2名の紹介
- ・公民館主催事業11月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・都公連委員部会Bブロック研修会について、その他

第8回 平成6年11月17日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業12月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・全国公民館研究集会報告、その他

第9回 平成6年12月15日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業1月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・都公連委員部会、全体研修会報告、その他

第10回 平成7年1月12日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業2月分
- ・東京都公民館大会について、その他

第11回 平成7年2月9日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業3月分
- ・生涯学習審議会報告
- ・平成7年度公民館予算について、その他

第12回 平成7年3月9日(木) 公民館本館

- ・公民館主催事業4月分
- ・公運審委員視察研修について
- ・生涯学習審議会報告
- ・都公連委員部会、館長部会合同研修会報告、その他

公民館運営審議会の活動は以上の定例会議のほかに、

◆都公連委員部会活動及び都公民館大会、関東ブロック大会、全国公民館研究集会への参加、先進公民館視察研修等を実施した。（全8回）

◆平成5年11月館長の諮問による「公民館における生涯学習の在り方について」に対して、6年度の臨時会を開催した。（全6回） 答申：平成6年8月31日

6. 奨励、援助

(1) 人的援助

各団体、個人の相談に応じ、職員が必要な助言、指導、援助を行った。

分館を除き、公民館本館では、夜間における社会教育の活動が昼間より非常に多いことから、これら社会教育活動をする市民（団体）の相談にのり、必要な援助をするため、職員が1名残る体制をとっている。（午後5時から10時まで）

(2) 教材、教具等の利用

(3) 事務援助

印刷事務援助等

(4) 会場借上

小ホール3回（市民劇団バックス公演、邦楽同好会発表会、市民音楽祭）

社会教育備品貸し出し状況

内訳	月 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	7年 1月	2	3	計
利用団体	4	5	6	5	3	9	8	4	4	1	10	6	65
16ミリ映写機		2	2	1	1		1		2		1	1	11
8ミリ映写機										1	1	1	3
O H P						1	1						2
スクリーン		2	2	1	2						1		8
暗幕			1	1	1		1					1	5
ビデオセット	2	1	3	3		2	1	3	1		3	2	21
照明機材	1					2						1	4
音響機材			1			3	2				1		7
キーボード	1					2	1	1	1		1		7
電子ピアノ		1	1								3	1	6
平 台					8		16						24

多摩社会教育会館フィルム配送サービス取扱い

内 月	6年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	7年 1月	2	3	計
利用団体	1	2	3	9	7	3	4	2	4	1	3	1	40
本数	1	6	7	20	13	5	9	3	7	2	6	3	82

講師派遣事業

この制度は、公民館を利用するサークルの活動を援助するため、公民館が予算の範囲内で講師を委嘱し派遣するものである。この制度を受ける事業はすべて公募とし、一般市民が自由に参加できるものとされている。

月 日	派 遣 サ ー ク ル	講 師	参 加 者
6. 9. 18	女性学サークル	内 藤 和 美	23人
6. 11. 19	福生市民コーラス	小 林 光	34人
6. 11. 10	いちごクラブ	木 本 薫	23人
7. 2. 2	あじさい	金 衛 富佐子	15人

7. 公民館主催事業

(1) 幼 児

おたのしみ映画会

主に幼児、小学校低学年の親子を対象に、映画の鑑賞の機会を設けるために実施した。

月 日	内 容	回数	人数
4月23日 24日	はれときどきぶた、ぼくときどきぶた	3回	40人
6月26日	キャプテン翼 — 宿命のライバル —	2回	25人
8月14日	戦争 — 子どもたちの遺言 —	2回	12人
10月8日	宇宙パート1、2、4	2回	8人
12月18日	魔女の宅急便	2回	48人
2月19日	ガラスのうさぎ	2回	9人

保育室事業

子どもをあずけることを通して大人が学習していく場として実施した。

期 間 平成6年6月2日(木)～平成7年3月31日(金) 午前10時～正午

全32回、21回、19回、18回の4コース

会 場 公民館本館、松林分館、白梅分館

内 容 子どもをあずけることを大人の学習にしていく。

参加者

コ ー ス	参 加 幼 児							延べ人数	合 計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	計	回		
公 民 館水曜コース	0	6	3	3	0	12	19	228 人	90 回 1054 人
〃 金曜コース	1	6	9	1	0	17	18	306	
白梅分館木曜コース	0	2	3	2	1	8	21	168	
松林分館火曜コース	0	5	1	5	0	11	32	352	

(2) 少 年

冬休み工作教室「新聞紙でつくる動物」

造形の面白味を、新聞紙を使った動物を創ることにより体験し、子ども達の創造性を養う一助として実施した。

期 間 平成6年12月27日(火)、平成7年1月5日(木) 全2回

午前10時～正午

会 場 公民館第三集会室

講 師 来住野利明氏(造形作家)

参加者 6人×2回=12人

サバイバル教室

子供達の仲間づくりと、野外活動における基礎技術を学ぶため実施した。

期 間 平成6年7月14日(木)～8月25日(木)

毎週木曜日 午後2時～4時 全9回

会 場 公民館、多摩川中央公園、奥多摩境溪谷キャンプ場

山梨県丹波山村奥秋テント村

参加者 22人×9回=198人

月 日	内 容	講 師
7/14	オリエンテーション・自己紹介・室内ゲーム	佐久間直冬氏・井上 武氏
7/21	魚つかみどり・調理	佐藤 陽介氏・中井 和幸氏
7/28	デイキャンプ	佐久間直冬氏・名々井美帆氏 井上 武氏・佐藤 陽介氏 中井和幸氏・八重樫伊知郎氏
8/ 5	デイキャンプ	佐久間直冬氏
8/11	キャンプ準備会	村井 基樹氏
8/18	サバイバルキャンプ	井上 武氏
8/19	サバイバルキャンプ	佐藤 陽介氏
8/20	サバイバルキャンプ	中井 和幸氏
8/25	反省会	佐久間直冬氏・井上 武氏 佐藤 陽介氏・中井 和幸氏

児童合唱教室

子供の合唱活動を組織化し、合唱団を育成することを目標に実施した。

期 間 平成6年5月14日(土)～平成7年3月25日(土)

毎週土曜日 午後2時～4時 全34回

会 場 公民館本館・福生第3小学校

参加者 34人×33回=1,122人

内 容 発声から曲づくり、発表会。

講 師 高橋逸子氏(福生6小教諭)・小田切洋子氏(ピアニスト)

子ども教室94

異年齢の子どもの遊びを通して、1.子どもの中の民主性を回復し、2.子どもの手のしなやかさ、手のたくみさの回復、3.自然とのふれあいを大事にしながら、地域を科学的にみる目を養い、4.仲間に働きかけながら、何かを一緒にやりとげる力を育て、子どもの自治能力を獲得

する、5. そうした活動を、子どもの遊びや文化に関心を持つ青年と繋げていく。この5つ視点を通して、子どもの学校以外の発達を保障する目的で開催した。

6月は友達づくりのエポック、7～8月は、野外活動のエポックで、全身をつかいながら自然に親しみ、自然に触れる中で、生活経験を豊かにしていく。この時期、自然にしたしみ、仲間と共同の仕事を通して協力する力や、初歩的な野外活動の技術をキャンプを通して、身につけていく。9月から創作活動を課題とした。

期 間 平成6年5月29日（日）～10月6日（日）午後2時～4時まで 全15回

会 場 松林分館

参加者 24人×15回＝360人

月 日	テ ー マ	講 師
5月29	室内ゲーム	担当職員
6月 5	室内ゲーム	
12	割り箸鉄砲 的当て	
19	野外ゲーム	
26	野外ゲーム	
7月 3	野外活動 多摩川川原	
10	野外活動 多摩川 川渡り	
17	野外活動 多摩川で遊ぶ	
24	笛づくり	
31	多摩川で遊ぶ 川渡り・草花丘陵ハイク	
8月6・7	予備キャンプ実習 松林の庭	名々井美帆 他 担当職員
14	キャンプ話し合い	
18～ 20	五日市青少年キャンプ村キャンプ	
9月11	多摩川で遊ぶ	担当職員
18	粘土創作	
25	粘土創作	
10月 6	野外活動、多摩川で活動	

福祉キャンプの経験しか持たない、障害を持った子どもがキャンプに参加したが、その活動を中学生2年のリーダーグループが支えきり、無事、2泊3日の活動を終えることができた。予備キャンプの段階で、中学生リーダーに、障害を持った子どもをキャンプにつれていくのかどうか、連れていく場合に、その子どもの活動をどう保障するのかを考えて貰った。中学生リーダーはかなり悩んだ様子であるが「仲間としてやって来たのだから、キャンプに参加させよう」という結論を下した。その子どもの現地での活動を支えきった中学生リーダーの成長は目を見張る者があった。

子ども教室Ⅱ 紙粘土教室

夏休み期間に子どもの創作活動の場として、紙粘土教室を開催した。

期 間 平成6年8月23日（火）～8月26日（金）午後1時30分～4時 4回

会 場 松林分館

参加者 18人×4回＝72人

月 日	テ ー マ	講 師
8月23日	デザインを考える	滝沢 昭子氏 公民館運営審議員
24日	人形制作	
25日	人形制作 着色	
26日	着色 合評会	

ファンタスティック（児童劇団）

1986年10月に子ども教室86から出発、演劇を通して、異年齢の子ども集団の形成と自治能力の育成。演劇を上演に向けて、仲間と一緒に、共通な目標に向かって努力をしていく、その過程を通して、子供の自治を豊かに育てていく。現在中学3年生から小学校1年生まで、団員16名。平成6年10月18日で満8年を迎えている。団長、副団長、書記、当直を決め、ほぼ自主的な運営を行っている。

期 間 平成6年4月3日～平成7年3月31日 原則として毎土曜日 第2水曜

会 場 松林分館

人 員 16人×62回

月	日	内	容	講	師
4月	2. 9. 16. 23	もえろ天の火・花咲き山練習		担当職員	
5月	7. 11. 21. 28	もえろ天の火・花咲き山練習			
6月	4. 8. 11. 25	もえろ天の火・花咲き山練習			
7月	2. 6. 9. 12. 16. 23. 27	もえろ天の火・花咲き山練習 もえろ天の火・花咲き山練習		名々井美帆 学生	
8月	3. 6. 10. 13. 17. 21. 23. 24. 25. 26	もえろ天の火・花咲き山練習 もえろ天の火・花咲き山練習 市民会館で公演 花咲き山			
9月	3. 6. 10. 17. 24	もえろ天の火・花咲き山練習		担当職員	
10月	1. 4. 8. 9. 12. 15	もえろ天の火・花咲き山練習			
	16.	だれでもなんでも展で公演			
	23. 30	脚本選び、発声練習			
11月	5. 9. 19. 26	脚本選び、たのしい王女様			
12月	3. 7. 17. 23	目をさませトラゴロウ			
1月	11. 21. 28	目をさませトラゴロウ上演決定			
2月	4. 9. 18. 26	台本読み			
3月	4. 9. 18. 26	配役決定、練習、立ち稽古			

中学生のリーダーのまとまりが良く、小学生の指導に力を発揮し、自治的な運営能力が8年間の活動の中で、確実に育ってきている。

劇団ファンタスティック公演15回

公演作品 燃えろ天の火 演出 平野陽子 出演 ファンタスティック
花さき山 演出 平野陽子 出演 ファンタスティック
演技指導 名々井美帆氏（ファンタスティックOB 専門学校学生）

会 場 市民会館小ホール

公演日時 平成6年8月26日（日）午後2時から3時30分

入 場 者 113人

劇団ファンタスティック公演16回（第16回だれでもなんでも展に出演）

公演作品 花さき山 演出 平野陽子 出演 ファンタスティック
演技指導 名々井美帆氏（ファンタスティックOB、専門学校学生）
公演場所 松林分館
公演時間 午後3時30分から4時30分
入場者 67名

たんけん教室

「滝山丘陵でいろいろな遊びを体験しよう」。これが今年度のたんけん教室のメインテーマで、約20回におよぶプログラムを予定した。しかし、今年度は天候に恵まれず、予定の回数や内容を満足には実施できなかった。

期 間 平成6年5月7日～平成7年4月2日 全14回

会 場 白梅分館・多摩川・滝山丘陵・草花丘陵・狭山丘陵

参加者 延べ参加者数 109人

講 師 岡田紀夫氏ほか、実技指導員数名を依頼した。ほとんどの回を実技指導員で対応した。

日時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5. 7	白梅分館	オリエンテーション	自己紹介と教室の内容説明	
6. 12	滝山丘陵	オリエンテーリング	地図とコンパスの使い方の実践練習	岡田紀夫氏他
7. 23	大丹波川	沢のぼり	洋服を着たまま川で泳ぐ	〃
8. 10	柳山公園	野宿に挑戦	野外で生活するための最小の装備	〃
8. 11			で一日を過ごす体験をする	
9. 11	狭山丘陵	トトロの森たんけん	自転車で狭山丘陵を観察に行く	〃
9. 23	草花丘陵	なんでも食べよう	クリやアケビを探して食べる	〃
10. 16	滝山丘陵	滝山再発見	滝山でもクリを探してみる	〃
11. 13	滝山丘陵	笛を作ろう	シタケを使って手作りの笛を作る	〃
12. 18	滝山丘陵	枯れ葉で遊ぶ	滝山丘陵で枯れ葉を使った遊び	〃
12. 22	白梅分館	たんけん望年会	シジュウカラの入る巣箱を作る	〃
2. 4	白梅分館	巣箱を作る	冬の二次林の様子を観察する	〃

2.11	浅間嶺	雪山に挑戦	長淵丘陵の自然の様子を観察する	〃
3.19	長淵丘陵	二次林観察	親や友人を誘ってハイキング	〃
4. 2	滝山丘陵	ファミリーハイキング		〃

総括 昨年同様多くの時間をさいて滝山丘陵で遊んだが、参加者は、滝山の地形や植物の様子が分かってきたようだ。滝山の生物一般の様子を知ることは一番大きな目的ではないが、遊びの中で生物の種類をおぼえていくことは重要なことだと思われる。

今後も、身近な生物の様子などを遊びを通して観察することを増やしていきたいと考えている。

子ども昆虫博士になろう

昨年まではカワラバッタを集中的に追いかけて、そのことから川原の昆虫の生態系の変化をみようとしていたが、今年は、草花丘陵や滝山丘陵、そして富士山などの昆虫もみてみようとして計画してみた。

期 間 平成6年7月26日～8月30日 全6回

会 場 白梅分館・多摩川・草花丘陵・滝山丘陵・富士山

参加者 延べ参加者数 41人

日時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
7.26	白梅分館	オリエンテーション	自己紹介と教室の内容紹介	栗原 仁氏
8. 2	かに坂公園	水辺の昆虫	トンボや水生昆虫の観察	〃
8. 9	草花丘陵	林の昆虫	セミと甲虫を観察する	〃
8.16	滝山丘陵	林の昆虫	シデムシやカナブンの観察	〃
8.23	富士山	富士山の自然観察	富士山と福生の自然の比較	〃
8.30	南公園	鳴く虫の観察	コオロギなどの鳴く構造の観察	〃

総括 今年度は、身近な林まで観察対象を広げてみた。さすがに富士山とは比較にならないが、セミや小さな甲虫はなんとか見られる。しかし、昆虫を気持ち悪い対象物と考えている子どももいて、昆虫や身近な植物に、日常的に関心を持っていないことがよく分かった。

ヤングカレッジ「自分の福生を写してみよう」

カメラ機材にはこだわらず、自分のイメージする福生を撮影することで、青年同士の交流の機会になればと思い実施した。

期 間 平成7年2月16日(木)～3月23日(木)
毎週木曜日 午後7時30分～午後9時 全6回
会 場 公民館・市内
参加者 3人×6回＝18人
講 師 野村 亮氏

(4) 女 性

講座「主婦－再出発の設計図」(金曜保育室併設)

子どもを預けることによって見えてくる身近な女性問題の学習と、女性史を学ぶことによって、女性の歩んできた道筋やこれからの生き方を学びとるために実施した。

期 間 平成6年11月11日(金)～平成7年3月31日(金) 全18回
午前10時～正午

会 場 公民館集会室
参加者 17人×18回＝306人

プログラム

回	月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1	11月5日	オリエンテーション	保育室の説明、講座の趣旨説明	担当職員
2	11月25日	講座オリエンテーション	子どもを預けることと女性問題、映画「町の政治」鑑賞	担当職員
3	12月2日	お互いに良く知り合うために	課題の自己紹介作文を通し、自己紹介と参加動機の紹介	
4	12月9日	子どもの成長発達	自己紹介の続き、ビデオ「さくらんぼ坊や2」を観る	
5	12月16日	子どもの成長発達	映画「さくらんぼ坊や3」を観て話し合い	
6	1月6日	保育学習会	運営会議の課題を受けて、話し合い	高崎 文江 (保育者)
7	1月13日	女性史を学ぶ	なぜ女性史を学ぶのか、古代から前近代まで	折井美耶子氏 (女性史研究家)

8	1月20日	女性史を学ぶ	近代の女性Ⅰ	折井美耶子氏 (女性史研究家)
9	1月27日	女性史を学ぶ	近代の女性Ⅱ	折井美耶子氏 (女性史研究家)
10	2月3日	保育学習会	運営会議の課題を受けて、話し合い	高崎 文江氏 (保育者)
11	2月10日	女性史を学ぶ	戦後の女性Ⅰ	折井美耶子氏 (女性史研究家)
12	2月17日	女性史を学ぶ	戦後の女性Ⅱ	折井美耶子氏 (女性史研究家)
13	2月24日	女性史を学ぶ	戦後の女性Ⅲ	折井美耶子氏 (女性史研究家)
14	3月3日	保育学習会	運営会議の課題を受けて、話し合い	高崎 文江氏 (保育者)
15	3月10日	保育学習会	運営会議の課題を受けて、話し合い	高崎 文江氏 (保育者)
16	3月17日	私の歩みと女性問題	講師の生き方から自身のこれからを創造する。	折井美耶子氏 (女性史研究家)
17	3月24日	子育てとこれからの私達の歩み	子どもの成長、私の成長、子育てと女性問題	佐々木京子氏 (保育者)
18	3月31日	子育てとこれからの私達の歩み	子どもの成長、私の成長、子育てと女性問題	田中 加代氏 (保育者)

女性ワープロ教室

初心者を対象にワープロの基本的な操作を学ぶとともに、女性問題へのアプローチとした。

期 間 平成7年1月25日(水)、26日(木)

午前9時30分～午後1時 全2回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルポ98vを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×2回＝20人

講 師 Tスクエア インストラクター

本館保育室連絡会

保育サークルの連絡調整と保育学習の場として実施した。

期 間 平成6年4月27日(水)～12月14日(水) 全6回

会 場 公民館本館

参加者 延べ53人

月 日	内 容
4. 27	6年度保育室事業について、清掃
5. 27	保育遊具の修理、保育室の使い方について
7. 8	保育日誌をもとに保育の視点を確かめる
9. 9	保育日誌をもとに保育の視点を確かめる
11. 19	保育室の使い方について、備品について
12. 14	保育室の清掃

保育室運営会議

保育室に子どもをあずけることを通して見えてくる問題を大人の学習にしていける場として実施した。

期 間 平成6年7月2日(土)～平成7年3月4日(土) 全9回

会 場 公民館本館

参加者 延べ88人

月 日	内 容
7. 2	どのようなあずけ方、あずかり方をしたら子どもたちにとって良いのだろうか
8. 27	保育室にあずけて見えたことを話し合い、保育室に求めるものを確かめる
9. 17	保育室が目指している子ども集団とは
10. 29	保育室が求めている集団の質とは
11. 26	保育室が求めている集団の質とは
12. 17	「育ち」、集団の「質」とは何か
1. 28	集団保育の意味を考える、集団保育で何が育つか
2. 18	公民館保育室で大事にしていきたいこと
3. 4	公民館保育室は何を大切にしているか

女性問題講座「母と子の暮らしをひらく」

自分の生活や社会のありようを女性問題の視点でとらえ直し、仲間と共に解決に向けて取り組む力をつける。保育室併設の講座。

期 間 平成6年6月22日(水)～平成6年11月30日(水) 午前10時～正午

全18回

会 場 公民館本館

参加者 14人×18回=252人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 29	はじめに	自己紹介・講座について。	
7. 6	学習会	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代 (保育者)
13	私にとっての女の問題	参加の動機、自分にとっての女性問題。	
20	〃	〃	
27	性別役割分担ということ	性別役割分担とは、その問題性。	内藤 和美 (昭和女子大助教授)
8. 17	〃	〃	〃
24	「女性役割」を巡る困難	「女性役割」とは、女性の主体性の回復と自立。	〃
31	学習会	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代
9. 7	「主婦」という制度	「主婦」とは、「主婦」をめぐる問題。	内藤 和美
14	「家」と戸籍と氏と墓	女性学がなぜこれを問題にするのか。	〃
21	「家」と戸籍と氏と墓	変革に向けて。	〃
28	「福岡裁判」について	「福岡裁判」から学ぶもの。	〃
10. 5	学習会	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代
12	講座から学んだこと	講座から何を学んだか。	
19	「女性問題審議会」の提言をよむ	女性問題の視点で提言を読み直す。	中川キミ子 (福生市女性問題審議会委員)
26	「女性問題審議会」の提言をよむ	女性問題の視点で提言を読み直す。	高木とし子 (福生市女性問題審議会委員)
11. 9	学習会	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代
16	講座のまとめ	講座から何を学んだか。	
30	学習会	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田中 加代

ふっさ女性フォーラム '94

より多くの市民と共に女性問題について考える機会として実施した。

期 間 平成7年1月14日(土) 午後2時～午後4時30分 1回

会 場 市民会館小ホール

参加者 97人

テーマ 貴女、フルネームで生きていますか？

内 容 講談「山下さんちの物語～夫婦別姓編」 宝井琴桜(講談師)

シンポジウム「貴女、フルネームで生きていますか？」

金城清子(弁護士)

村瀬春樹(エッセイスト)

大川和恵(市民・国分寺市立小学校教諭)

石橋初子(福生市女性問題連絡会)

「ふっさ女性フォーラム '94」をすすめる会

市民による運営をめざして実施した。

期 間 平成6年5月27日(土)～平成7年2月10日(土) 全11回

会 場 公民館

参加者 8人×11回＝88人

内 容 「ふっさ女性フォーラム '94」をどんな内容でどのようにすすめたらよいかを話し合い、運営する。

アメリカのポスター展

これまで男性の職種とされていた分野に女性が進出し、活躍しているアメリカの女性達を応援するポスターを通して、女性の仕事をとらえ直す機会として実施した。

期 間 平成7年3月16日(木)～19日(日)

会 場 公民館本館 展示室

来場者 80人

内 容 さまざまな職域で活躍するアメリカの女性を応援するポスター展。

ビデオ&トーク「ルッキング・フォー・フミコ」

日 時 平成7年3月18日(土) 午後1時30分～4時

会 場 公民館本館

参加者 10人×1回=10人

内 容 ビデオ「ルッキング・フォー・フミコ」を見て、70年代にマスコミを賑わしたウーマン・リブの運動が何を求める運動だったのかを話し合う。

コメンテーター 若林苗子(元リブ新宿センターメンバー・現在自然食品店自営)

家庭教育学級(子育て、手作り絵本、女性問題)

今年の家庭教育は3つのエポックに分けて実施をした。第1のエポックは乳幼児の発達をテーマとした手作り絵本の制作を通して、乳幼児にとって絵本の意味や児童文化財の意味を考える機会とし、第2期は、子の養育にあたっての性別役割分業を改めて見直す中で乳幼児の成長発達を含めて、子供の教育の課題を青年期位迄の範囲で考え、改めて、人間が育つということの意味を問う場とした。第3期は、子育て以後の人生の設計を考えながら、女性問題の課題を考える事とした。子育ての部分は教育講座と共同した。

期 間 平成6年6月7日(火)から平成7年3月14日(火)迄

会 場 松林分館

参加者 11人×30回

月 日	内 容	講 師
6月7日	オリエンテーション	担当職員
14日	公民館とは、子育ての課題を明らかに	担当職員
21日	私の絵本論	木住野利明氏
28日	絵本を読む	絵本作家
7月5日	子育てを考える1	保育者 田中加代氏
12日	絵本のストーリーを考える	木住野利明氏
19日	絵本の枠組みを考える	木住野利明氏
26日	絵本の制作ー絵本の下書きの制作	木住野利明氏
8月23日	画材について 絵具、彩色道具とその性質	木住野利明氏
30日	絵本の制作	木住野利明氏

9月 6日	絵本の制作	木住野利明氏
13日	子育てを考える 2	保育者 田中加代氏
20日	絵本の製本の技術	木住野利明氏
27日	絵本の製本	木住野利明氏
10月 4日	絵本完成、合評会	木住野利明氏
18日	今日の教育課題を整理しよう。K J 法①	担当職員
25日	今日の教育課題を整理しよう。K J 法②	担当職員
11月 1日	フィルムフォーラムさくらんぼ坊や・1. 2 (映画)	
8日	こどもと教育 さくらんぼ坊や3～4 (映画)	
15日	こどもの発達 映画 アリサ	
22日	乳幼児の成長と発達 1 豊かな乳幼児の発達	園田トキ氏 (元西久保保育園園長)
29日	乳幼児の成長と発達 2 3才期の発達	
12月 6日	保育学習会	保育者 田中加代氏
13日	乳幼児の成長発達 3 集団とは	園田トキ氏 (元西久保保育園園長)
20日	子供の権利条約を学ぶ	
1月10日	映画「林 竹二 授業・人間について」一部ビーバー	
24日	保育学習会	保育者 田中加代氏
31日	映画「林 竹二 授業・人間について」 2部狼に育てられた青年	
2月 7日	こどもの教育 ー今こども達は	白井 愼氏 (法政大学教授)
14日	今日の教育の現状	
21日	保育学習会	保育者 田中加代氏
28日	女性のライフサイクルの変化	担当職員
3月 7日	いま、女性問題はー性別役割分業を超えて 1	橋立弘子氏
14日	いま、女性問題はー性別役割分業を超えて 2	都社会教育主事

参加者の感想

一言で言いあらわせない程、私にとって勉強になりました。講座を申し込んだ動機は子供にも世界で一冊しかない絵本を与えたいというのと、昨日と同じ今日を送るのに退屈さと焦りを感じながら、そんな動機が吹き飛ばようなカルチャーショックでした。世界が広がりました。いま、

改めてノートを見ると、子育て人生のポイントだと思った事が書き留められています、私のこれからの課題は、いかに多くのポイントを私の人生、生活に体现していくということでしょうか。

女性学級－高齢化社会と豊かな老後－

女は、1度は父母の、2度目は夫の、そして最後に自分自身の老いをむかえ、女は3度老いを迎えるといわれている。核家族での今日、子育ての終了も、一昔前よりもはるかに早くなった。40才以後、83才まで、実に40年間、その中で、老いを迎えるにあたっての自立の課題や看取りの課題を改めて考える機会として実施した。

期 間 平成6年10月27日(金)～12月16日(金) 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 6回×5＝30人

内 容

月 日	内 容	講 師
10月21日	オリエンテーション	担当職員
11月11日	女性のライフサイクルの変化	担当職員
18日	老いをめぐる課題	担当職員
25日	福生市における高齢者・障害者生活実態調査を読む	担当職員
12月 2日	福生市の地域福祉計画を読む	担当職員
9日	在宅介護をめぐって	担当職員

準備会で地域の高齢者の地域別、年次的変化などを通して出来るだけ地域の実態を分析する場を設けてきた。参加者の最年長者は82才であった。

人形劇を創る

子育て期の女性を対象に、人形の頭・衣服・背景・小道具・シナリオをつくり、上演するまでをとおして、他人と共同、協力して新たなものをつくりだす機会とした。

期 間 平成6年6月2日～11月17日 全21回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 158人

講師 原嶋 卓三氏

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
6. 2	白梅分館	オリエンテーション	自己紹介と教室の内容説明	原嶋 卓三氏
6. 9	〃	人形劇を見る	昨年の記録をVTRで見る	同 上
6.16	〃	記録の作り方	各回の記録の作成の仕方を学ぶ	同 上
6.23	〃	記録の作り方-2	同 上	同 上
6.30	〃	人形の頭の作成	シナリオにそって頭を作成する	同 上
7. 7	〃	同 上	同 上	同 上
7.14	〃	保育学習会	保育室運営会議に基づく話し合い	佐々木京子氏
7.21	〃	衣服を作る	人形の衣服の製作	原嶋 卓三氏
7.28	〃	同 上	同 上	同 上
8.23	〃	打ち合わせ	今後の進め方などを点検した	
9. 1	〃	保育学習会	保育室運営会議に基づく話し合い	佐々木京子氏
9. 8	〃	道具を作る	シナリオにそって小道具を作る	原嶋 卓三氏
9.22	〃	本読み	シナリオを役割別に読む	同 上
9.29	〃	保育学習会	保育室運営会議に基づく話し合い	佐々木京子氏
10. 6	〃	立ち稽古	実際に人形を動かして練習する	原嶋 卓三氏
10.13	〃	同 上	同 上	同 上
10.20	〃	同 上	同 上	同 上
10.27	〃	同 上	同 上	同 上
11.10	〃	同 上	同 上	同 上
11.12	〃	人形劇上演	今までの練習の成果を発表する	同 上
11.17	〃	保育学習会	保育室運営会議に基づく話し合い	佐々木京子氏

総括 昨年同様、第二土曜日に上演したが、これは、夫や学校へ通っている子どもに見てほしいという配慮からで、自主的な人形サークルとの競演によって、今年も多くの人が見に来てくれた。

しかし、幼児を抱える母親が人形劇を続けていくのは難しい現実があり、なかなか定着していかない。しかし、子どもが今後は小学校に入学した母親などを対象に、人形劇に限らず新たな創造的な試みを考えるべきかもしれない。

(5) 男 性

講座「男の料理」

女性問題は男性問題。男も生活の自立を目指すとともに、性別役割分業を超え、あらたな男女共生を目指して実施した。また、地域での男のネットワークづくりを目指した。

期 間 平成6年10月8日(土)～平成7年2月18日(土)

月二回土曜日 午後6時～9時 全10回

会 場 公民館本館調理室

参加者 24人×10回=240人

講 師 谷口美津子氏(管理栄養士)

プログラム

月 日	内 容
10月8日	講座の説明、自己紹介、豆腐ステーキ、しめじと小松菜のごま和え、味噌汁
10月22日	ビーフシチュー、マカロニサラダ、おむすび
11月5日	さばの味噌煮、けんちん汁、青菜のからし和え
11月19日	鶏むね肉のマスタード焼き、小柱ときゅうりのごま和え、味噌汁、ごまクッキー
12月3日	炊き込みごはん、かき揚げ、ブロッコリーのミモザ和え、すまし汁
12月17日	鰻のたたき、鍋物、酢の物
1月7日	七草がゆ、鶏ささみのしそ巻き焼き、野菜の炒りなます、コーンクリームスープ
1月21日	各班で別々に。A=酢豚、スープ B=しゅうまい、マーボ豆腐 C=春巻き、レバニラ炒め D=餃子、チャーハン
2月4日	かつ丼、きんぴらごぼう、大根と納豆昆布のしょうゆ漬け、芋ようかん、味噌汁
2月18日	ローストビーフ、粉ふきいも、にんじんのグラッセ、グリーンサラダ、かぼちゃのスープ

男の料理交流会

過去の講座参加者に呼びかけ、参加者同士のネットワークづくりと料理の腕がさらに向上するよう実施した。

期 間 平成7年3月4日(土)、18日(土)

午後6時～9時 全二回

会 場 公民館本館調理室

参加者 12人×2回=24人

講 師 谷口美津子氏（管理栄養士）

内 容 3月4日=桜えびごはん、鶏のからあげ、だし巻き卵、ぱりぱり漬け、袋煮、ブロッコリーの塩ゆで

3月18日=伊達巻、菜花のからし和え、五目寿司、鰯のたたき、すまし汁

(6) 成人・一般

市民文化教室

1. 主 催 福生市公民館 福生市文化協会

2. 目 的 多くの市民に趣味や技術・教養に関する初歩的学習機会を提供することにより、市民文化活動への参加を促し、その活動の拡大に役立てる。

コース名	期 間	曜	時 間	延参加者	指 導 者
編物・手芸	7月14日～10月6日	木	午前10時～正午	150人	堂田きよ子
三 味 線	7月22日～10月7日	金	午後6時30分～8時30分	230人	玉津信男
社交ダンス	8月6日～10月15日	土	午後7時～9時30分	360人	大石安子
書 道 A	8月12日～10月21日	金	午前10時～正午	130人	野島栄一
尺 八	8月12日～10月25日	金	午後7時30分～9時30分	60人	窪田成司
剣 詩 舞	8月19日～11月11日	金	午後7時～9時	80人	小川由利子
茶 道	9月2日～11月23日	金	午後7時～9時	220人	杉浦陽子
いけばな	9月3日～11月19日	土	午前10時～正午	170人	島田千枝子
書 道 B	9月6日～11月29日	火	午後1時30分～3時30分	200人	岡部美代子
民謡踊	9月13日～10月25日	火土	午後7時30分～9時30分	100人	中本靖子

第九回実行委員会

第4回“ふっさ春の第九演奏会”の開催にむけ、また市民合唱団の充実運営のため、公民館と市民実行委員の構成により次のように実施した。

期 間 平成6年5月31日（火）～平成7年4月21日（金）

会 場 公民館

参加者 25人×11回=275人

回	月 日	内 容
1	6. 5. 31	(準備会) 3回の演奏会及びバレーを振返る 今後の実行計画
2	6. 29	実行委員会・合唱団の態勢 合唱講習日程 合唱団員募集
3	7. 22	団員多数募集 合唱講習会進め方 コンサートづくり=スタッフ公募について
4	8. 20	実行委員会態勢について 合唱団運営について
5	9. 13	パート分け 合唱団結団式 コンサートスタッフ 前期練習日程
6	10. 23	コンサート開催PRから本番までの段取りについて
7	11. 23	役割分担・実施事項の確認 チケット販売計画について
8	12. 18	後期練習日程 合宿企画 チケット販売推進 経験者連絡
9	7. 2. 14	終盤の取り組み チケット販売促進 当日パンフレットの作成
10	3. 2	当日運営 写真・テープ・VTR プログラムパンフレット 打ち上げ
11	4. 21	今回の演奏 組織運営 残務整理 今後の方向展開について

第九合唱講習会

3月26日(日)の第4回「ふっさ春の第九演奏会」にむけ、福生第九市民合唱団の育成の機会として実施した。

期 間 平成6年9月21日～平成7年3月25日 (全30回)

会 場 公民館集会室 市民会館大小ホール

参加者 120人×30回=3600人

合唱講習会	(設 定 内 容)	指導者・ピアニスト
・合唱パート	ソプラノ、アルト、テノール、バス	指導者
・練習日	水曜：夜間 日曜：午後 設定	朝日育也氏(玉川大学教授)
・練習内容	①ドイツ語の意味、発音練習	平川 信氏(声 楽 家)
	②ベートーベン「第九」第4楽章の 合唱音取り、暗譜練習	助 手 小林 光氏(合唱指導者)
	③パート練習と合同練習の組合せ	ピアニスト
	④合宿、大ホールリハ、オケ・ソリ ストとの音合わせにより本番へ	山下やよい氏 小田切洋子氏 杉本まゆみ氏

市民音楽祭「合唱講習会」

昭和56年度からスタートした市民音楽祭は、これまで市民音楽団体の自主開催で行われてきた。音楽団体個々の集合発表から、ひとつの企画構成による合同発表の機会づくり（ブラスバンドとの合同演奏）にむけ、次ぎのように合唱講習会を実施した。

期 間 平成6年4月22日（金）～6月12日（日）（全7回）

会 場 公民館集会室

参加者 100人×7回＝700人

合唱講習会	（設 定 内 容）	指導者・ピアニスト
・合唱パート	ソプラノ、アルト、テノール、バス	指揮者 大島玲子氏（合唱指揮）
・練習曲	大地讃頌 気球に乗ってどこまでも	
・練習内容	発声練習	ピアニスト 山下やよい氏
	曲目練習 暗譜	
	ブラス・合唱の音合わせ	

講座「生涯学習」

急速な社会変化の中、生涯学習社会の形式が唱えられてきている昨今、平成2年6月の（略称「生涯学習振興法」）制定以来、国や都県及び市町村（国・都県とは別に独自の）レベルにおいて生涯学習計画の策定が進められており、当市も生涯学習審議会が設定され、現在審議中である。

そこで、生涯学習社会形成について基本事項を把握し、自治体独自の計画策定への課題や市民が学習社会への参画と担い手意識を形成（行政と市民による創造）する機会として実施した。

期 間 平成7年3月3日（金）～3月17日（金）（全3回）

会 場 公民館

参加者 6人×3回＝18人

回	月 日	内 容	講 師
1	7. 3. 3	生涯学習計画策定で大切にしたい事項	宮森徳弥氏（多摩市公民館長）
2	3. 1 0	“生涯学習”その教育の根源について	木全力夫氏（創価大学教授）
3	3. 1 7	自治体（市町村）が創る生涯学習計画	小林文人氏（東京学芸大学教授）

講座「高齢社会」

日本の社会の急速な高齢化は、現在“高齢社会”の段階に至っている。当市は65才以上の高齢人口割合が9.3%を越え、高齢化が進んでいる。そこで、現段階の高齢社会の現状と課題を把握し、今後の高齢期の生活づくりに資するよう以下のとおり実施した。

期 間 平成7年2月21日（火）～3月7日（火）（全3回）

会 場 公民館

参加者 30人×3回＝90人

回	月 日	内 容	講 師
1	7. 2. 21	現代高齢社会の現状と課題	安藤孝敏氏（都老人総合研究所社会学研究員）
2	2. 28	現在の高齢者福祉施策の動向	中野いく子氏（ ” 福祉部主任研究員）
3	3. 7	団塊の世代の高齢期への備え	児玉好信氏（共立女子短期大学）

第13回公民館のつどい

さまざまな地域の課題を市民のレベルで市民が考え合う場として実施された。

テーマ 「それいけ こうみんかんー公民館 出会いが つくる人と街ー」

開催日 平成6年9月15日（祝）

会 場 公民館本館

参加者 333人

当日プログラム

10:00	12:30	13:15	13:30	17:00
全 体 会		昼食	分 科 会	
手作りコーナー（午前の部）		移動	手作りコーナー（午後の部）	
展 示 コ ー ナ ー				

全体会 講演会「生きることと学ぶことー公民館はなんのためにあるのかー」

講師 小林文人氏（東京学芸大学教授）

アトラクション 歌と剣詩舞

出演 剣詩舞会、ドレミ、FMC

分科会

テ ー マ	司 会	レポーター	記 録	助言者	会 場
障害者と共に歩むまちづくり ー共に生きるとはどういうことですか！ー	柳 正氏 (れんげ園)	佐藤幹氏(れんげ園) ・貞二氏(父) 葦原勝氏(東筋協ボランティア) 竹内雅子氏(青年学級にじのはらっぱ学級生)・悦子氏(母)、青木布美枝氏(にじのはらっぱスタッフ)	奥田京子氏 (おもちゃ図書館) 本木美登里氏(あゆみの会)	な し	第4、5 集会室
女らしさ 男らしさから自分らしさへ ー管理される性役割と教育ー	伊藤典子氏 (自由の風……)	臼井千恵子氏(小学校教諭)、石橋初子氏(福生市女性問題連絡会)	吉崎頼子氏 (自由の風……)	中山宜子氏 (国学院大学・福生市女性問題審議会委員長)	視聴覚室
市民がつくる芸術文化パートⅡ ー市民芸術の現状と課題を考えるー	杉山行男氏 (FMC)	小林昌幸氏 (FMC)	有井節子氏 (ドレミ)	な し	音楽室
国際交流 ーさまざまな国の人から日本を福生で語るー	山崎笑子氏 (ゆうあいふっさ)	今井エステル氏、松本サユリ氏、吉田ヘディス、呉氏、バンダラ氏、他	飯岡一文氏 (ゆうあいふっさ)	な し	第3 集会室
私達のまちの生涯学習計画	秋山典子氏 (EAEF)	な し	田中加代氏 (まーまれーど)	小林文人氏 (東京学芸大学)	第1、2 集会室

手作りコーナー 「スタンドグラスにチャレンジ! ミニランプの製作」

指導 スタンドグラスの会

展示コーナー(9月15日～18日)

内 容 デッサン、れんげ園活動報告、スタンドグラス、油絵、革工芸

出展サークル

彩光会、れんげ園、スタンドグラスの会、福生美術同好会、革工芸の会

公民館のつどい実行委員会

期 間 平成6年5月10日(火)～9月22日(木)

午後7時30分～9時30分 全10回

会 場 公民館本館

参加者 延155人

月 日	内 容
5. 1 0	つどい構想、実施時期の検討について（準備会として実施）
6. 7	つどい構想、予算、世話役選出、実行委員会日程について
6. 2 3	つどい日程、構成について
7. 7	つどいテーマ、分科会、手作りコーナー、展示コーナーについて
7. 2 1	つどいの構成、分科会、手作りコーナー、全体会について
8. 2	分科会、展示コーナー、全体会について
8. 1 8	ポスター、チラシについて
9. 1	全体会、展示コーナーについて
9. 6	会場の決定、記録集について
9. 1 5	公民館のつどい
9. 2 2	つどいを振り返る会、各部門の報告、今後について

音響・照明機材操作講習会

公民館では市民の社会教育活動の広がり・深まりを目指すために音響・照明機材を備えてきました。その機材の講習を通して、活動のリーダー養成や情報交換、交流の場となるように実施した。

照明の部

日 時 平成7年3月11日（土）午前10時30分～正午
場 所 公民館本館
内 容 調光機の扱い方、電源の取り方、スポットライトなどの扱い方、他
講 師 佐藤勝貫氏、馬場由里氏（専門家）
参加者 6人

音響の部

日 時 平成7年3月17日（金）午後7時30分～9時30分
場 所 公民館本館

内 容 P A卓、マイク、スピーカーなどの使い方、ケーブルの配線、他
講 師 上島 茂氏、伊藤朋子氏（専門家）
参加者 7人

ワープロ練習会

自宅に眠っているワープロを使い、初心者を対象に練習会を実施した。

期 間 平成7年3月2日（金）、9日（金）

午後7時30分～9時 全二回

会 場 公民館本館

参加者 7人×2回＝14人

内 容 個別に課題を設定し、ワープロの基本操作、機能を習得するように、スタッフを配置し、対応した。

パソコンビデオ編集体験学習会

公民館の備品として購入したパソコン、ソフトを利用して、ビデオ編集のデモンストレーションと体験学習を実施した。

日 時 平成7年2月23日（木）午後6時～9時

会 場 公民館本館

講 師 千野雅則氏（グローバルナレッジ）

参加者 3名

内 容 アドビ「プレミア」等のソフトを使ったビデオ編集の実際。

「国際化を考える」準備会

現在、公民館では自主サークルでの国際交流、日本語学習の機会が設定されているが、公民館として何ができるのかをさぐるために、ゆうあいふっさのメンバーの協力のもと、これからの国際化の事業をどう進めていくかを準備会を通し、考えていった。

日 時 平成7年2月16日（木）午後7時～9時

会 場 公民館本館

参加者 4人

内 容 ゆうあいふっさの活動から、公民館の事業展開を考える他。

16ミリ発声映写機操作講習会

16ミリ発声映写機の操作技術の習得と、視聴覚教材の知識を身につける機会として実施した。
また、地域の視聴覚リーダーの養成と情報交換も併せてすすめた。

期 間 平成6年6月1日(水)～3日(金)

午後7時～10時 全3回

会 場 公民館本館

参加者 8人×3回=24回

講 師 佐藤 勝貫氏、伊藤朋子氏(専門家)

月 日	内 容	講 師
6月1日	視聴覚教育、映写機の構造他	担当職員
6月2日	映写機の操作	講師 担当職員
6月3日	映写機の操作、個別操作、フィルムライブラリー等について	”

美術室利用者連絡会

美術室の利用者相互の情報交換、交流と、美術室の清掃等のため実施した。

日 時 平成6年6月1日(水)、9月1日(木)、10月1日(土)

午前10時～正午 全3回

場 所 公民館本館美術室

参加者 5人×3回=15人

フラワーデザイン教室

フラワーデザインの基礎を学び、日常生活の場で役立てる機会として実施した。

期 間 平成6年10月4日(火)～12月6日(火) 午後7時～9時 全6回

会 場 公民館本館

参加者 22人×6回=132人

月 日	テ ー マ	講 師
10. 4	かごのアレンジメント	遠 藤 久 美 子 (フラワーデザイン講師)
1 8	ハンドルのアレンジメント	
2 5	花器アレンジメント	
11. 8	コサージュ	
2 2	花器アレンジメント	
12. 6	トピアリーのクリスマスツリー	

第12回福生市民音楽祭

福生市民音楽祭は福生市音楽愛好者連絡会主催により、11年市民主体で実施されてきた。昨年は童謡フェスティバルのため、実施されなかったが、今年はその経験を踏まえ、より一層充実した事業計画となった。そのため、公民館に援助の要請があり、共催という形態で事業を実施した。

日 時 6月12日(日) 午後12時30分開演

場 所 市民会館大ホール

入場者 622名 無料・全席自由席

内 容 第1部 サークル発表の場

第2部 合同演奏の場

合唱講座参加者と二中のブラスバンドとの合同演奏

曲目 気球に乗ってどこまでも、大地讃頌

第3部 ゲスト 横田基地ゴスペル聖歌隊

出 演 福生市民コーラス、コーラス虹、人生を歌おう会、コールコスモス、コール野ばら、福生混声コーラス、福生リコーダクラブ、福生一中ブラスバンド、福生2中吹奏楽部、FMC、ドレミ 計11団体

講座「現代文学にみる戦争」

文学作品を通して、戦争に対する作家の考えや表現を学ぶと共に、自分が戦争とどのように向合っていたらよいのか考えることを目的に実施した。

期 間 平成6年9月1日（木）～10月6日（木）午前10時～12時 全5回

会 場 公民館本館

参加者 25人×5回＝125人

月 日	内 容	講 師
9・1	オリエンテーション・野坂昭如『風になったお母さん』	私塾主宰 武田 秀夫氏
8	大岡昇平『俘虜記』を読む1	
22	2	
29	3	
10・6	4・まとめ	

文化講座「こんなに楽しいオペラ」

ホールでの市民参加型事業が増え、市民の地域における文化づくり、まちづくりへの機運も高まりをみせている。このようななかで、音楽等の舞台芸術サークルのリーダー対象にオペラという総合舞台芸術の歴史、つくり方を通して、オペラの魅力を学ぶ機会として実施した。

期 間 平成6年11月11日（金）～12月16日（金）午後7時～9時 全5回

会 場 公民館本館

参加者 13人×5回＝65人

月 日	内 容	講 師
11・11	オペラの歴史	プロデューサー 山崎 篤典氏
18	オペラのできるまで	
25	市民がつくるオペラ	
12・9	オペラがまちをつくる	
16	これからのオペラ	

本館利用者連絡会

本館利用者の交流、情報交換の場、公民館について学ぶ場として、設立された本館利用者連絡会。公民館と共催で実施した。

日 時 平成6年5月21日(土)～1月21日(土) 午前10時～12時 全7回

会 場 公民館本館

参加者 延べ95人

月 日	内 容
5/21	会則について・アンケート結果について
7/16	会則について・アンケート結果について・公民館はなぜ無料か
8/20	アンケート結果について・公民館はなぜ無料か
9/17	公民館のつどいについて・アンケート結果について
10/22	利用者研修会について・公民館備品の要望について・社会教育機関とは
12/10	利用者研修会について・社会教育機関とは
1/21	利用者研修会について

本館利用者研修会

本館利用者を対象に利用者相互の情報交換と交流を図り、また公民館について学ぶ機会として本館利用者連絡会との共催で実施した。

日 時 平成7年3月7日(火) 午前10時～12時

会 場 公民館本館

参加者 20人

テーマ 『公民館は私たちのもの～つかうだけの公民館から、つくりあげる公民館へ』

講 師 東大和市公民館利用者連絡会 田中昌子氏・加藤知代氏・松尾朋子氏・伊藤かおる氏

やじきたハイキング

市民に気軽に軽ハイキングに親しむ機会を設けると共に、地域でのハイキングのリーダーとなりうるため安全な登山の方法を学ぶ機会としても実施した。

月 日	内 容 と コ ー ス	参加人数	講 師
4. 1 5	奥多摩湖畔倉戸山周辺	4 9 人	吉野 チエ氏
6. 1 4	相模湖から石老山	雨天中止	吉原 寿子氏
9. 2 8	浅間嶺	雨天中止	美野 善光氏
1 1. 3 0	浅間嶺	3 0 人	藤野 二郎氏
1. 3 1	奥武蔵高山不動から関八州見晴台	3 1 人	
3. 1 4	青梅丘陵を経て梅の公園	3 9 人	

公民館本館調理室利用者連絡会

調理室利用サークルの連絡調整、情報交換の場として実施した。

日 時 平成6年5月26日（火）～平成7年1月24日（火）

午前10時～12時 全5回

会 場 公民館本館

参加者 12人×5回＝60人

内 容 調理室の清掃等

篆刻教室

篆刻の技法を学びながら、自分の印を完成させていく。参加者どうしの親睦を図りながら、篆刻の魅力を味わう講座を実施した。

期 間 平成7年2月3日（金）～3月3日（金） 午後7時30分～9時30分 全5回

会 場 松林分館

参加者 19人×5回＝95人

講 師 田端克敏氏（都立八王子北高校教諭）

だれでもなんでも展

開催日 10月15日(土)・10月16日(日)

プログラム

10月15日(土) 午後1時～5時

展示 絵画、陶芸、手芸、書道、七宝、絵本、サークル紹介

演示 ・映画 「鉢かつぎ姫」「ゆかいなピエロとにげだした6匹の熊」

・マジック(アマチュアマジッククラブ)

喫茶コーナー コーヒー、紅茶、おしるこ、ケーキ、ピザ

10月16日(日) 午前10時～4時30分

展示 絵画、陶芸、手芸、書道、七宝、絵本、サークル紹介

演示 ・映画 「鉢かつぎ姫」「ゆかいなピエロとにげだした6匹の熊」

・大正琴演奏(琴凰会)(琴松会)

・新舞踊(白梅会)

・剣詩舞(剣詩舞同好会)

・コーラス(コーラス虹)(コールコスモス)

・みんなで歌おうコーナー

・マジック(アマチュアマジッククラブ)

・劇「花咲き山考」(ファンタスティック)

喫茶コーナー、模擬店コーナー、囲碁コーナー

展示作品 422点(一般 137点 サークル 285点)

出品者・団体数 一般 30人 団体13サークル

参加団体 24サークル 延入場者数 1927人

だれでもなんでも展実行委員会

地域に開かれた文化祭をめざし、1)地域の中でこつこつと作品を作っていたり、日常生活の中で行われている文化的営みを掘りおこし、そうした活動をしている人々を地域でつなげていく。2)そういう人をつなげる役割を分館利用者が担っていく。3)松林でのサークル活動の発展の場として、サークル活動を地域に広げていく。という三つの柱のもとに、利用者交流会が中心になり、実行委員会を結成、準備、実施にあたった。

実行委員会日程

- 6月4日 第1回実行委員会（正副実行委員長決定、実施日決定）
- 6月18日 第2回 “ （テーマ決定）
- 7月2日 第3回 “ （呼びかけ文決定）
- 7月23日 第4回 “ （ポスター原案の承認）
- 9月3日 第5回 “ （出展内容について）
- 9月10日 第6回 “ （会場・時間の割り当て、受付担当の決定）
- 9月17日 第7回 “ （模擬店について）
- 10月1日 第8回 “ （会場設営について）
- 10月8日 第9回 “ （各事項の最終確認）
- 10月29日 反省会

参加者 延べ208人

今年のテーマ 出会い ふれあい 発信 この街から

松林ホームシアター

主に子どもたちの情操を豊かにする内容の映画を上映した。

期 日 平成6年4月29日（金）～平成7年2月25日（土）

会 場 松林分館

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入場者
4. 29	白雪姫・まえがみ太郎	午前11時～ 1回	24人
5. 28	ガリバー旅行記	午後2時～ 1回	45人
6. 25	クマのプーさん（イーヨのおたんじょう日） 三ねん寝太郎	午後2時～ 1回	32人
7. 23	王様の耳はロバの耳	午後2時～ 1回	30人
8. 27	マリエクスプレス	午後2時～ 1回	4人
9. 25	かえると王女・金色の足あと	午後2時～ 1回	20人
10. 15	鉢かつぎ姫 ゆかいなピエロとにげたした6匹の熊	午後1時30分～1回	40人
10. 16	“	午前10時～ 1回	40人
1. 28	ジャングル大帝（約束） クマのプーさん（プーさんと虎）	午後2時～ 1回	15人
2. 25	ゆかいなアシカ騒動	午後2時30分～1回	20人

シネマフェスティバル For Peace

恒久平和のために、子供や一般向けの反戦映画を上映した。

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入場者
8. 1 1	ガラスのうさぎ	午前10時～正午 1回	5人
	おばけ煙突のうた・一つの花	午後2時～8時40分 2回	5人
8. 1 2	冬のリトルボーイ	午前10時～午後8時	21人
	象のいない動物園・さくら隊散る	1回	
8. 1 3	象のいない動物園・さくら隊散る	午前10時～午後8時	19人
	冬のリトルボーイ・チャップリンの兵隊さん	1回	

人形劇公演（松林ホームシアター）

質の高い、生の人形劇を提供し、市民の情操の滋養や市民文化活動発展の一助を目的として実施した。

日 時 平成6年12月18日（日）午後2時30分～3時20分

会 場 松林分館

内 容 劇団「なるにあ」による「どんぐりと山猫」

参加者 75人

松林分館利用者交流会

松林分館利用者の交流をはかり、館と利用者、利用者と利用者の交流が豊かに行なえる様に実施した。

第1回

日 時 平成6年4月23日（土） 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容

- ・サークルの情報交換
- ・利用者交流会代表の選出について
- ・平成6年度松林分館事業予定について
- ・第15回だれでもなんでも展について

参加者 20人

第2回

日 時 平成6年12月10日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ・サークルの情報交換
・平成7年1月から3月までの館の使用について
・公民館運営審議会の答申について

参加者 14人

第3回

日 時 平成7年3月4日(土) ①午前10時～12時

②午後7時30分～9時30分

場 所 松林分館

内 容 ・サークルの情報交換
・公民館運営審議会報告
・公民館運営審議会委員の選出について
・臨時休館について

参加者 20人

松林分館利用者交流会学習会

公民館とは何か、公民館を改めて考える機会として学習会を実施した。

日 時 平成7年2月25日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 講演 「改めて公民館を考える」
講師 進藤文夫氏(中央大学講師)

参加者 7人

識字学級(言葉の会)

義務教育未終了者や義務教育を卒業はしているけど、現実には日本語の読み書きに不自由をしている人々が現実には地域の中で生活をしている。その数は非常に少ないが、その人々が文字を自由に出来なかった事で多くの基本的な人権を奪われているという現実がある。そして現実にはその人々の負っている生活は厳しい。こうした人々に加えて、ここ10数年間外国人労働者の流入が非常

にめだっている。こうした人々が生活語としての日本語学習が必要になっている。1985年の国連での学習権宣言は「学習権は読み、書きの権利である」として、学習権の第1番目に、「読み書きの」権利を上げている。こうした基本的な人権保障として、識字教育を実施した。

期 間 平成6年4月7日（土）～平成7年3月31日（土）午後1時30分～4時まで

会 場 松林分館

講 師 高崎伊平氏（元小学校校長）

参加者 9人×45＝405人

月 日	内 容	月 日	内 容
4月7日 14日 21日 28日 5月12日	教材 ピーマン大王 住井すゑ作	9月21日 28日 10月6日 13日 22日 29日	天で大吉がないているわ 早船ちよ作
19日 26日	詩「手」 手	11月10日 17日 24日 16日 23日 12月8日 15日 22日	わらぐつの中の神様 杉 みき子作
6月2日 9日	雨ニモマケズ 雨ニモマケズ	1月10日	はじめてのお使い（絵本）
16日	漢字テスト	19日 25日 2月2日 9日	最後の授業、ドーテー作
23日 30日	詩「生きる」 谷川俊太郎作	3月2日 9日 16日 23日 30日	小さな出来事 魯迅作
7月7日 14日	いま、若い母親に言いたいこと 田中澄江作		
21日	沼をわたるかわせみ 今西裕行著		
8月4日 11日 18日 25日	学習の仕方・日本語の表記		
9月1日 8日	いま、若い母親に言いたいこと 田中澄江作		

現在参加者 日本人2名 在日韓国人4人 タイ人2名 中国人1名。構成年齢29才から63才まで。

地域福祉講座

1990年6月に社会福祉に係わって社会福祉8法が改正されました。これは社会福祉の歴史的な転換であるといわれ、今回の改正によって「地域福祉の時代が到来した」と日本社会福祉事業大学の大橋氏はのべている。実際1995年迄に何処の自治体でも「地域福祉計画」の策定が義務づけられ、各自治体で、地域福祉計画が策定されている。地域で障害者も高齢者も豊かに暮らせる福祉をどう地域で実現をしていくかが大きな課題となっている。社会教育における福祉教育視点は、福祉に於ける福祉の権利主体の確立であるといわれている。こうした主体形成にむけて、地域福祉の実現を学ぶ場とした。

期 間 平成6年10月27日(木)～3月16日(木) 午後7時30分から10時

会 場 松林分館

参加者 12回×8人

月 日	内 容	講 師
10月27日	課題整理 KJ法	担当職員
11月10日	福生の高齢者・障害者の実態調査報告書を読む	担当職員
17日	福生市地域福祉計画を読む	担当職員
12月 1日	現場から学ぶー共同作業所ひまわりからの報告	平沢由利子氏
7日	れんげ作業所からの報告	柳 正氏
15日	福生の高齢者福祉ー在宅を巡って	阿部セツ氏
2月16日	地域福祉計画を見る視点	宮島 敏氏(聖隷福祉事業団)
23日	福生の地域福祉計画	山崎雄大氏(福祉センター準備担当)
3月 2日	在宅福祉を考える	担当職員
9日	在宅福祉を考える	担当職員
16日	日野の在宅ケアセンターから	島田五美子氏(日野ケアセンター)

準備会を12回に渡って開催をした。地域の具体的問題や現状が、準備会の中で語られ情報を交流の場とした。

P T A 講座

1946年文部省が「父母と先生の会ー教育民主化のために」を全国知事当てに通知をしてから、48年を経て、今日P T Aの本来の目的を含めて、さまざまな課題をうんでいる現実がある。しか

も、昭和40年代にPTA廃止論が出されたり、又PTAのない学校も増えてきた。しかし、学校教育や子供をめぐる状況はかなり厳しい状況が展開をしている。こうした状況も含めて、改めて今日PTAの意義を問い、基本的なPTAの役割を理解する場とし、PTA活性化の研修の場とした。

期 間 平成6年5月26日(木)～平成7年7月7日(木) 全7回

会 場 松林分館

参加者 14人×7回=98人

月 日	内 容	講 師
5月26日	PTAの運営	溝淵幸太郎氏(元会長)
6月 2日	PTAを楽しむ	前橋弘子氏
9日	PTAの運営Ⅱ	溝淵幸太郎氏(元会長)
16日	PTAの広報の役割	前橋弘子氏
23日	PTA広報の編集	元読売新聞PTA広報紙 コンクール審査委員
30日	手作り広報のつくり方 実習	
7月 7日	手作り広報のつくり方 実習	

参加者の声

今年でPTA卒業という時になって、遅ればせながら、「PTAの組織と運営」を学び、もっと早い時期に、この講座に出席していたらよかったとつくづくと思いました。

「広報づくり」の講座では、紙面づくりもさることながら、これからの人生のいき方をも教わりました。「PTAは民主主義を学ぶ人間大学」とは、正に、その通りだと思います。この1年間、中学の広報活動に役立てていきたいと思います。

人権講座

国際人権週間に合わせて、人権問題の理解のために、実施した。

期 間 平成6年11月19日(土)から12月17日(土) 全5回

会 場 松林分館

参加者 15×5回=75人

テーマ 現代社会と人権 -差別のない社会を求めて

月 日	内 容	講 師
11月19日	九十才の人間宣言 住井すゑ氏 ビデオを見て討論	担当職員
26日	現代社会と基本的人権 I－人権の歴史－	川村善二郎氏 (歴史学者 学芸大学講師)
12月 3日	現代社会と基本的人権 II	
10日	現代社会と部落問題 部落問題の歴史	
17日	差別のない社会を求めて	

参加者の声

基本的人権講座全五回有り難うございました。特に今回は部落問題に関連したお話しと討議が有意義に実施され満足しています。西光万吉、水平社宣言の文面にみる部落民云々の文章を一人一人の我々に置き換えて読んでみ、かつ反省してみると、改めてその言わんとしている人間平等の精神がいかに問われているのかを先生から教えられ良い勉強になりました。ゴーリキーの「人間は本来いたわるべき者ではなく、尊敬すべき者だ」にも関連を含めて、此の宣言は私の一つの指針にしたい。今後も教授の講座を楽しみにしている。

知らないことを知るということは、やはり楽しいことだと思いました。

市民大学歴史講座－日本の近代・現代とアジアⅢ

戦後50年を迎えようとしている、今日、尚、戦前のアジアにおける戦争被害者から訴えが続くという現実がある。しかし、こうした事実に対する日本の反応は、時として、その事実が無かったような反応であったり、すでに、賠償責任は解決をしているという見解であったりする。細川内閣は就任の記者会見で「第2次世界大戦は侵略戦争だったと認識している。過去の反省とけじめを行い国際責任をはたしたい」と述べています。戦後の日本とアジアの関係を改めて歴史を通して考えると機会とした。

期 間 平成6年6月4日(土)から平成6年10月29日 全15回

会 場 松林分館

参加者 14回×16人＝294人

月 日	内 容	講 師
6 月 4 日	オリエンテーション	担当職員
1 1 日	歴史の教訓に学ぶということは－戦争責任・戦後責任	川村善二郎氏
1 8 日	映画「朝鮮半島の植民地支配」	担当職員
7 月 2 日	ビデオ「橋のない川第7巻完成記念講演 住井すゑ氏」	
9 日	日本の国民は祖国の敗戦をどう迎えたか。	川村善二郎氏
2 3 日	アジアの諸国は日本の敗戦をどう迎えたか？	(学芸大講師
3 0 日	連合軍の日本占領政策をめぐって	歴史学者 図説日
8 月 6 日	日本国憲法の制定をどううけてめたか	本近代の歴史編者)
9 月 1 7 日	東京裁判で裁かれたものはなにか？	
2 4 日	戦争責任の反省の見方をどうするのか？	
1 0 月 1 日	冷戦構造とアジアをめぐって－朝鮮戦争と日本の対応	
8 日	日韓会談と日韓条約をめぐって	
2 2 日	歴史の教訓に学ぶことは	
2 9 日	全体を通して、まとめ	

参加者の声から

20年8月15日敗戦宣言の天皇の言葉を放送された時、ああ戦争は終わったのかと実にうれしかった。中国残留孤児の親探しをはじめ戦後40年すぎた現在なお戦争が続いていることを思い、第2次大戦がこんなにも広範囲に根深いものであったことを思い知らされました。私も日本人の一人として、また、戦争を繰り返さないことを祈ります。

- ・ 講座を開催するにあたって、準備会を2回開催し講座のプログラムを作成した。

教育講座－子供の成長発達を考える－

期 間 平成6年10月18日(火)から2月14日(火) 午前10時～12時

会 場 松林分館

参加者 13回×10＝130人

内 容

月 日	内 容	講 師
10月18日	今日の教育課題を整理しよう。K J法①	担当職員
25日	今日の教育課題を整理しよう。K J法②	
11月 1日	フィルムフォーラムさくらんぼ坊や・1. 2	
8日	こどもと教育 さくらんぼ坊や3～4	
15日	こどもの発達 映画 アリサ	
22日	乳幼児の成長と発達1 豊かな乳幼児の発達	園田トキ氏
29日	乳幼児の成長と発達2 3才期の発達	元西久保保育園園長
13日	乳幼児の成長発達3 集団とは	園田トキ氏
20日	子供の権利条約を学ぶ	元西久保保育園園長
1月10日	映画「林 竹二 授業・人間について」	担当職員
31日	映画「林 竹二 授業・人間について」2部狼に育てられた青年	
2月 7日	こどもの教育 -今こども達は	白井 慎氏
14日	今日の教育の現状	法政大学教授

家庭教育学級と共同して行った。参加者年齢29才～50才。子育ての課題をK J法で整理をした。

「私の子育て」「アリサを観て」「園田先生の講義を受けて」「林 竹二・授業を観て」「保育室に子どもを預けて」「白井先生の講義から」をそれぞれレポート作成の課題とした。

日常的な子育てから、世界の子どもたちのことまで教えていただき、大変参考になりました。自分の子どもだけではなく、世界中の子どもが幸せにならない限り、真の平和は来ないのだということが良くわかりました。いただいた「子どもの権利条約ノート」をよく読んで自分の子どもも世界の子どももともども、権利や尊厳を私たち大人が守っていかなければと思います。

(参加者の感想から)

16ミリ映画を観て教育を語る会

優れた教育映画を通して、教育問題や子育てを考える機会としておこなった。フィルムフォーラムの形をとって進めた。

期 間 平成6年5月21日から11月12日 月1回土曜日 午後2時～4時30分

会 場 松林分館

参加者 8人

上映作品

5月21日	さくらんぼ坊や1～2	フォーラム司会 担当職員
6月14日	さくらんぼ坊や3	フォーラム司会 担当職員
7月16日	さくらんぼ坊や4	フォーラム司会 担当職員
9月10日	さくらんぼ坊や5～6	フォーラム司会 担当職員
11月12日	アリサー ヒトから人間への記録ー	フォーラム司会 担当職員

時間的な問題なのか、参加者は予想に反してすくなかった。しかし、少ない分、細かい話し合いになった。

松林分館保育室利用者交流会

松林分館の保育室利用者の交流と学習の場として設定をした。

5月12日 いま、保育室の現状

7月 8日 保育室の掃除、ダンボール椅子の作成・修理

12月 8日 保育室整理

2月 7日 各サークルの現状

松林分館保育室学習会

保育室利用サークルを対象に、乳幼児のより良い発達を見る目を養う場として、保育学習会を実施した。

日 時 平成7年3月4日 午前10時～12時

会 場 松林分館

参加者 2サークル 15名

テーマ 乳幼児の成長発達ー豊かな発達を目指してー

講 師 園田トキ氏 西久保保育園元園長

参加者の声

今日のお話を聞いている中で、こどもは、大半が3才までの働きかけで決まってしまうよう

で、もう手遅れだと不安になってしまいました。私の子供はもうすぐ3才になります。絵本にしても、どんな本を与えればいいのか分からず、つい、幼児むけの雑誌を買っています。今日の先生の絵本をとおしてのお話は、とても参考になりました。今からでも努力をして、いい絵本を、子供に、読んであげたいと思います。本当に有り難うございました。

水墨画教室

趣味を通しての仲間づくり、水墨画を描くことの喜びと生きがい、一人でも描くことができるまでの学習を行った。

期 間 平成6年6月7日(火)～平成6年9月27日(火)

会 場 白梅分館

参加者 全15回・延べ272人

回	月 日	内 容	講 師
1	6月 7日	ドクダミ、アジサイを描いた	柳 沢 き み 氏
2	6月14日	ドクダミ、アジサイを描いた	
3	6月21日	トウモロコシを描いた	
4	6月28日	キュウリ、ナスを描いた	
5	7月 5日	スグル、竹ザサを描いた	
6	7月12日	さつまいも、玉葱を描いた	
7	7月19日	ムクゲを描いた	
8	7月26日	葉ショウガ、ピーマンを描いた	
9	8月 2日	こけし人形を描いた	
10	8月 9日	秋海棠、オミナエシを描いた	
11	8月16日	イワシの丸干を描いた	
12	9月 6日	こすもすを描いた	
13	9月13日	栗を描いた	
14	9月21日	アジの開きを描いた	
15	9月27日	野ブドウ、赤マンマを描いた	

総括 水墨画の初歩から入ったが、参加者全員が非常に熱心に学習し、目的が達成できた。

なお、学習意欲が強く、10月から白梅水墨会という名称で、自主サークル化し継続実施している。

野山や河原を歩こう会

野山等を歩く事による健康増進、仲間づくり、生きがい、ストレス解消を目的とし、40才以上の市民30名を対象に実施した。

期 間 平成6年5月13日（金）～平成7年3月27日（金）

場 所 青梅、奥多摩、五日市、桧原等

参加者 全16回、延べ219人

回	月 日	行 先
1	5月13日	青梅市、塩舟観音、永山公園等
2	5月29日	羽村草花丘陵から福生市中央公園
3	6月 8日	御岳溪谷遊歩道
4	6月25日	五日市、戸倉城山、空き川溪谷
5	7月20日	鳩の巣溪谷遊歩道、白丸ダム
6	8月17日	御岳から梅の木峠、三宝山、吉野梅郷
7	10月 6日	高水三山
8	10月23日	桧原、浅間尾根、佛沢の滝
9	11月 1日	バスハイク、都民の森
10	11月23日	大岳山
11	12月16日	御岳山、日の出山、吉野梅郷
12	1月18日	青梅市、七福神めぐり
13	2月14日	青梅丘陵、吉野梅郷
14	2月27日	日の出町、尾浜尾根、肝要峠
15	3月19日	榎峠、雷電山、辛垣城跡
16	3月27日	秋川丘陵、弁天山

総括 参加者が非常に熱心で、歩くことで仲間づくり等ができ、皆さんが喜んでいる。また、自然、植物観察も同時にできることで楽しんでいる。人気の事業で、今後も継続実施していく。

私たちのまち福生を“診断”する

福生というまちを考えると、特別にセールスポイントがあるわけではないので、何にこだわるか、ということが一つの焦点になる。そこで、福生を診断し、最終的に何が残るのかを市民の人と話し合う機会とした。

期 間 平成6年10月18日～12月13日 全8回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数50人

日時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
10.18	白梅分館	オリエンテーション	講座の具体的なねらいなど	
10.25	同 上	ふっさのいまを診断する	市民による福生の分析	田中利明氏
11. 9	同 上	福生の市民自治は？	まちの基本的なみかた	池上洋通氏
11.15	同 上	魅力ある地域を作るために-1	都市を自然環境からみると	藤本和典氏
11.17	同 上	福生をつくるためには？	市民の力の結集方法は？	池上洋通氏
11.22	同 上	魅力ある地域を作るために-2	秋留台開発の現状と将来	大和田一紘氏
12. 6	同 上	魅力ある地域を作るために-3	市民を大切にするととは？	原嶋卓三氏
12.13	同 上	福生の将来と市民の役割	生活と自然の調和都市？	宮岡一雄氏

総括 市民の方と講師の方との会話の中に、「人にやさしいまち」という意味をもっと深く問いつめるべきだという部分があった。たしかに、簡単に言う言葉であるが、本当に弱い立場の人たちにそこの考え方が浸透されてよいはずで、そういう意味では福生のまちづくりはこれからだという思いがした。そして、市民を大切にするという考え方を職員一人ひとりが認識しないと、市民と行政の距離はますます広がるような気がした。

自然観察会

期 間 平成6年5月22日～平成7年3月12日 全7回

会 場 玉川・市内公園・滝山丘陵・狭山湖

参加者 延べ参加者数 169人

日時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5. 22	柳 山 公 園	イネ科の植物観察	イネ科の植物を公園で観察する	宮岡一雄氏
9. 10	中央公園	鳴く虫の観察	コオロギなど鳴く虫の観察	栗原 仁氏
10. 2	南 公 園	秋の川原の植物観察	キク科を中心に川原の植物観察	宮岡一雄氏
12. 4	南 公 園	冬鳥の観察会	渡り鳥のカモ類を中心に観察	岡田紀夫氏
1. 22	南 公 園	冬鳥の観察会	草原に住む野鳥を中心に観察	栗原 仁氏
2. 19	狭 山 湖	湖面の野鳥観察	大形のカモ類などの観察	
3. 12	中央公園	冬芽の観察	植物の冬越しの様子を観察する	宮岡一雄氏

総括 ☆ 94年度は、水生昆虫観察会だけが雨天のために実施できず、残念な思いをした。毎回、梅雨の時期に行われているので、天候とのかねあいがあるが、むずかしい。

☆ 観察会参加者が固定化しつつある一方、栗原先生のおかげで小学生が参加が目立っている。特に野鳥観察会や鳴く虫の観察会などは、小学生の姿を見ることができて楽しい。

☆ 観察場所が固定化しつつあり、新たな観察場所を探すことがよいかも含めて検討したい。例えば、野鳥の場合でいえば、高尾山とか富士山などを考えた方がよいのだろうか？

☆ 観察会自体は比較的“静的な”ものであるが、もう少し“動的な”部分や中身を検討しても良いのだろうか？

☆ 野鳥観察が冬に集中しているのは観察しやすいためだが、年間を通じて観察する必要はないのか？

☆ 今までは、日曜・祭日を中心に観察会を開いてきて、しかも観察行為だけを進めてきたが、開催日時や観察の内容の検討も必要なのだろうか？例えば、平日や土曜日に「野草を食べる」とか「昆虫を捕まえる」といった内容で、しかも主婦層や高齢者対象など、対象を絞った観察会も考えられるのか？

☆ 野鳥についてはかなり専門家が育った。しかし、昆虫や植物の分野ではそれほど深まっているとも、人材が豊富になったともいえない状況にある。また、観察会を通して、広い意味での環境教育を進めるためには多くの人たちの意見を集約しておく必要があるだろうが、今後の課題として広くしかも深く考えていくうえではどのような活動方法や内容が考えられるだろうか？

白梅親子映画会

幼児から小学校低学年を対象に、ほぼ毎月映画会を開いた。特に自然科学の分野の作品を上映し、身近な自然の仕組みや働きを知る機会としている。

期 間 平成6年6月18日～平成7年3月18日 全10回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 291人

日時	上 映 作 品	人 数
6.18	おじいちゃんの贈り物	12
7.30	ジュディがくれたコイン、深海の謎	4
8.27	ヒロシマ・母たちの祈り、虫さがし	8
3.10	ムーミン「はばたけペガサス」、四季の星座	10
10.22	四つの終止符	130
11.12	生命のシグナル、まじめな話	8
12.17	サイエンスグラフィティ、くまのプーさん	35
1.21	一人ぼっちの狼と7匹のこやぎ、太陽が沈まない、積み重なった空気	29
2.18	いのししうりっ子のぼうけん、ロストアニマルズ、地球があぶない	25
3.18	春を創る、お母さんの白い杖	30

総括 今年度は、念願の「四つの終止符」が上映できた。監督や劇団員も来てくれて、製作するときの気持ちやこの映画を創るにいたった動機などを熱く語ってくれ、当日の参加者も大変大きな影響を受けたようだ。映画を上映するだけではなく、作る側の気持ちなどを、今後も伝えていくようにしたい。

白梅分館利用者交流会

利用者相互の意見交換、白梅分館の利用上の問題などを話合う機会として実施した。

期 間 平成6年10月26日～平成7年3月7日 全3回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 102人

日 時	会 場	内 容 な ど
10. 26	白梅分館	来年度予算についての希望などを話し合う
12. 20	同 上	利用者みんなで大掃除をして、利用の実際を話し合う
3. 7	同 上	来年度予算と事業計画などについて話し合う

総括 利用者同士が利害を超えて話し合う機会として設置しているが、いつも全サークルの代表が参加しているわけではない。しかし、公民館運営審議会委員の方を中心に、本当に利用しやすい公民館をめざして、利用者同士の交流を図る機会として今後も実施したい。

白梅分館利用者研修会

公民館本来の役割や今後の生涯学習の考え方、そして公民館利用についてなぜ減免ということが出来るのかなど、利用する側にとっては公民館を利用するうえで基本的な考え方を学ぶ機会として実施した。

日 時 平成6年3月17日

会 場 白梅分館

参加者 32人

日 時	会 場	内 容	講 師
3.17	白梅分館	公民館利用の基本的な意味と減免の在り方について	島田修一氏

利用者発表会実行委員会

期 間 平成6年4月12日～6月15日 全4回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数52人

白梅分館を利用している人達が、自らの活動の様子を発表する機会として毎年行っている。この実行委員会を通して、他のサークルの人との交流や催し物のジョイントといったことが生まれ、新たな交流の機会となっている。

日 時	会 場	内 容 な ど
4. 6	白梅分館	なんでもやってみようコーナー打ち合わせ
4.12	同 上	各自のイメージと具体的な内容の検討
5.10	同 上	最終的な打ち合わせ
6.15	同 上	発表会を振り替り、今後の方向などを話し合った

総括 毎年行われていることで、マンネリを生じている部分もある。利用者による企画や立案運営が行われてこそ、本当の手作り文化が生まれてくるので、今後も手作りの文化を広める拠点としての役割を考えていく。

第13回白梅分館利用者発表会

6月4日（土） 入場者数300人

展示のひろば 午前10時～午後5時まで

パッチワーク・生け花・籐細工・陶芸・手描き染め

お茶席 午後1時～午後4時まで

親と子のひろば 午後2時～午後4時まで

子どもの絵画クラブによって、マジカルスペースを作りだした。

6月5日（日） 入場者数350

展示のひろば 午前10時～午後4時まで

語らい茶屋 午前10時～正午

演示のひろば 正午～午後3時30分

民謡・民謡・詩吟・三味線・大正琴・コーラス・社交ダンスなど

なんでもやってみようコーナー

正午～午後4時ごろまで

籐細工や七宝焼に挑戦する

模擬店 午前10時～午後

クッキー、ケーキなどの販売（ひまわり共同作業所）

れんげ園のメンバーの手作り作品の展示販売など

人形劇上演

日 時 平成6年11月12日 1回

会 場 白梅分館

参加者 参加者数 140人

今年度の「人形劇を創る」講座に参加した母親と、昨年度に参加し現在は自主的な活動をしている人形劇サークルがジョイントして、人形劇を上演した。

日 時	内 容
11.12	グリーンマントのピーマンマン・はらべこオオカミとひつじのおばさん

総括 今年も多くの市民に見てもらうことができ、上演した側も喜んでいた。しかし、継続して練習していくことはなかなかむずかしいことを参加した主婦そのものが語っている。今後も継続して活動するように、支援していくつもりである。

アメリカンリアルバードカービング

アメリカンリアルバードカービングの初歩的な技術を学び、将来的には参加者各自がいろいろな鳥を作成し、市内の公共施設に展示できるように考えて実施した。

期 間 平成6年6月10日～9月30日 全14回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 176人

講 師 水上清一氏・島田高廣氏

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
6.10	オリエンテーション	自己紹介と野鳥についての説明	水上清一氏
6.17	頭を削る	頭の部分を削り始める	同 上
6.24	同 上	頭の部分を削る	同 上
7. 1	野鳥の説明	野鳥の各部の機能や名称の説明	島田高廣氏
7. 8	頭の完成	頭を完成させる	水上清一氏
7.15	身体を削る	頭の完成に伴って体を削り始める	同 上
7.22	同 上	体を削る	同 上
7.29	同 上	体や尾羽をなども削りだす	同 上

8. 5	同 上	同 上	同 上
8.12	同 上	同 上	同 上
8.19	同 上	削り終わった人は足の作成を始める	同 上
8.26	色を塗る	各部にサンドペーパーをかけ色を塗る	同 上
9. 9	同 上	同 上	同 上
9.30	同 上	同 上（完成）	同 上

総括 今回は夜間の教室にも関わらずほとんどの人が休まず参加した。それぞれの作品ができたが、継続して一人で作るにはまだまだ講師からのアドバイスが必要である。しかし、夜間に会社帰りの作業では、各自のペースで継続して作成するのは少々難しいと感じた。

白梅ハイキング

白梅分館の主宰事業参加者が中心になって「白梅MC」というサークルを作っているが、この人たちがサークル結成10周年記念として、白梅分館利用者に呼びかけて白梅分館と共済で実施したハイキングである。

日 時 平成6年4月24日

行き先 高水三山

参加者 25人

総括 利用者が利用者に大して、公民館を通して学び身につけた力を還元することの大事さは、何も室内の学習行為だけにとらわれない。利用者はお互いが地域の人間であるので、白梅分館が本当の意味で地域の人間の交流の場となるよう、今後もサークル同士の、あるいは利用者同士の情報と人間の交流の場となるよう、多角的な活動を展開したい。

お父さんの実践アウトドア教室

日常的にはお父さんは仕事で追われ、休みには家族サービスを要求されている。しかし、アウトドアのノウハウなどを学んだ人は少なく、そのために、カタログ的な利用方法しかできない現実がある。

そこで、身近な多摩川や滝山丘陵などを利用して、お父さんが子どもたちと一緒に楽しめるよう、実践的なプログラムを用意してみた。

期 間 平成6年6月14日～7月3日

会 場 白梅分館・滝山丘陵

参加者 延べ参加者数14人

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
6.14	白梅分館	オリエンテーション	内容の説明と自己紹介	
6.21	白梅分館	カメラの使い方	各自のカメラで記録する方法を学ぶ	野村 亮氏
7. 3	白梅分館	オリエンテーリング	滝山丘陵での過ごし方の実践練習	

総括 雨天のために予定していた炭焼き・魚を釣っての燻製作りなどが中止となってしまう、秋に順延したがそのときも雨天でできなかったのは残念だった。

しかし、お父さんの日曜日のスケジュールは家族優先となっている実態がはっきりした。今後は、お父さん対象の事業の重要性が高まると思われるが、孤立している家族という単位で事業を考えるか、一人の父親を対象とするか、いくつかの方法と方向を考える必要があると感じた。

(7) 障害者

障害者青年学級「にじのはらっぱ」

義務教育終了後は、ほとんど学習の機会に恵まれない障害者が地域の一員として生きていける能力を身につけるため、集団活動を通して仲間づくりや基礎的生活週間を身につける場として実施した。

期 間 平成6年5月1日（日）～平成7年3月1日（日）

場 所 公民館本館及び野外

参加者 26人×22回＝572人

回	月 日	内 容	場 所
1	5. 5. 9	開級式	公民館
2	2 2	ハイキング	多摩動物公園
3	6. 5	グループ活動・合奏練習	公民館
4	2 6	野球観戦	東京ドーム
5	7. 1 7	ボーリング大会	中神ヤングボウル

6	2 4	河川清掃・写生	多摩川中央公園
7	8. 7	プール・合奏練習	福生一中
8	2 1	プール・合宿打合せ	福生一中
9	9. 3~4	夏期合宿	清里
10	2 5	物をつくる	公民館
11	1 0. 9	スポーツ交流	羽村養護学校
12	2 3	紅葉狩りハイキング	展覽山
13	1 1. 6	市民ロードレース	市内
14	1 3	ディスコ大会	秋川市民体育館
15	1 2. 4	弁論大会準備	公民館
16	1 1	第7回弁論大会	公民館
17	7. 1. 8	小さな旅	横浜
18	2 9	学級生企画	昭和記念公園
19	2. 1 9	いちご狩りハイキング	芦ヶ久保
20	2 6	クッキング・合宿打合せ	公民館
21	3. 12~13	冬期合宿	清里
22	1 9	閉級式	公民館

：■■■■部分には福生市、羽村市、青梅市、秋川市の4市交流事業。

：当日の反省及び次回の打合せのための「スタッフミーティング」は毎回活動日に行った。

その中で「スタッフ研修会」、人工呼吸講習会も行った。

：学級生による「運営委員会」は必要に応じて行った。「学級生企画」では計6回開かれた。

聴覚障害者のための映画会

聴覚障害者のために字幕付き邦画を上映し、映像文化に接する機会を設けた。

会 場 公民館本館視聴覚室

参加者 82人

月 日	作 品 名	入場者数
4. 2 2	ミンボーの女	16人
6. 1 7	黒い雨	18人
9. 2	思えば遠くへきたもんだ	16人
11. 1 1	パンツの穴	16人
1. 2 7	火垂るの墓	16人

(8) 高齢者

『寿市民ひろば』

人生80年時代を迎え、①“高齢期を社会の一員（担い手）として元気に生きるまち福生”を目指し、②高齢期の生活づくり・社会参加にむけて活動する市民グループを軸に、地区福寿会やシルバー人材センター会員はじめ、多数の高齢者市民の学習文化活動への参加の機会とし、③市行政、教育・福祉部門の連携により次の各種事業を開催した。

寿市民ひろば実行委員会

“寿市民ひろば”事業企画・実行のため、高齢者市民の参加及び関連行政分野職員との合同で実行委員会を開催した。

期 間 平成6年7月13日（水）～11月10日（木）（全4回）

会 場 公民館

参加者 25人×3回+60人×1回=135人

回	月 日	内 容
1	6. 7. 13	最近の活動の交換、昨年の事業を顧みて、今回の事業活動計画
2	8. 3	今年度事業各コース計画、広報・PR、運営分担等について
3	8. 30	実施前確認及びダイレクトメール作業（3館3コース）
4	11. 10	市長懇談会、人生うたい語りの集い打ち合わせ

寿講演・懇談会

期 間 平成6年10月1日(土)～11月17日(木) (全3回)

会 場 公民館

参加者 60人×3回=180人

回	月 日	内 容	備 考
1	6.10. 1	寿講演会Ⅰ『福生のまちづくりに思うこと』	宮岡一雄氏(駒大学教員)
2	10.15	Ⅱ『新発見!白鳳時代の菩薩立像=清岩院』	斎藤経生氏(好教員)
3	11.17	寿懇談会『市長と語ろう“わが街ふっさ”』	石川 彌 八 郎 市 長

語らいの広場

公民館の日常的な活動の場として、また各種総合活動を通して高齢期の生活・仲間づくりの機会として実施した。

期 間 平成6年9月20日(火)～12月13日(火) (全11回)

会 場 公民館本館

参加者 30人×11回

回	月 日	内 容	備 考
1	6. 9.20	オリエンテーション 広場の進め方 自己紹介	話し合い
2	9.27	高齢期の栄養学	柏原典雄氏(雪印乳業主席企画員・農学博士)
3	10. 4	現代家族問題について I	古谷野亘氏(都老人総合研究所)
4	10.12	Ⅱ	話し合い
5	10.18	市内見て歩き(清岩院ほか)	立川愛雄氏(市内文化財研究家)
6	10.25	福生市の福祉計画について I	仮称福祉センター開設準備室長
7	11. 8	Ⅱ	福 祉 部 厚 生 課 長
8	11.16	東京・多摩、近県再発見(羽田→横浜ベイ)	バスツアー
9	11.22	“今、私はこのことを大切に生きる”	話し合い交歓
10	11.29	調理実習「私の健康食づくり」	貫井恵美子氏(栄 養 士)
11	12.13	忘年会「この1年をふりかえり」	於 睦会館

若葉コーラス

語らいの広場の一環として、仲間づくり・健康保持のために以下のとおり実施した。

尚、「人生うたい語りの集い」において成果を発表するとともに、市民文化祭“音楽の広場”や“市民音楽祭”への参加により異世代交流の機会としている。

期 間 平成6年9月22日（木）～12月2日（金）（全8回）

会 場 公民館本館（音楽室）

参加者 30人×8回＝240人

若葉コーラス合唱講習（内 容 等）		指揮者ピアニスト
練習曲等	今回この講習は、春・夏・秋・冬 四季折々の歌をうたい上げようと 実施。人生うたい語りの集い発表	合唱指揮 小田切洋子氏（ピアニスト）

人生うたい語りの集い

『寿市民ひろば』のフィナーレを飾り、実施各コースの参加者の出演で、語らい学習や合唱その他の活動の成果を発表し、同世代・異世代との交流及び事業・活動のまとめの催しとして実施した。

開 催 日	内 容	参加者
6. 1 2. 2 午後1時30分～4時	I 部 人生わたしの意見10人 人生を歌おう 春夏秋冬 ゲスト 女声3部合唱 II 部 講演会「人生って支えあいっこ」俳優 牟田悌三氏 病気のため中止	200人

講座『自分史を書く』

自分の人生を振り返り、その断片を書き綴ることを通して、高齢者が地域で書き合う関係をつくることを目的に実施した。

今回で4年目を迎え、参加者も年々増え、現在では20人程度がこの講座に集まるようになった。

期 間 平成6年10月20日（木）～3月9日（木）午前10時～12時 全8回

会 場 公民館本館

参加者 22人×8回=176人

月 日	内 容	講 師
10. 7	オリエンテーション・自分史とは	私塾主宰 武田 秀夫氏
27	文章の書き方	
11. 10	皆の作品を読み合う	
17	皆の作品を読み合う	
12. 1	皆の作品を読み合う	
8	皆の作品を読み合う	
2. 9	文章づくり・校正	
3. 9	まとめ・文集発行	

高齢者

高齢者ワープロ教室

なかなか接する機会のなかったワープロに挑戦し、その基礎を学ぶ。

期 間 平成7年1月25日（水）、26日（木）

午前9時30分～午後1時 全2回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルボ98vを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×2回=20人

講 師 Tスクエア インストラクター

白梅熟年ひろば

高齢期の生活、仲間づくり、生きがいを目的に実施している「寿市民ひろば」の一環として、白梅分館では「熟年ひろば」の名称で次の事業を行った。

期 間 平成6年9月9日（金）～平成7年1月13日（金）

会 場 白梅分館

参加者 全12回 延べ356人

回	月 日	内 容	講 師
1	9 月 9 日	自己紹介等 オリエンテーション	立 川 愛 雄 氏
2	9 月 3 0 日	人生について（自分史）	八 坂 富 子 氏
3	1 0 月 7 日	高齢者の病気予防について	福生保健所 指導員 岡 崎 氏
4	1 0 月 1 2 日	都立薬用植物園見学（バスツアー）	植物園園長 清 水 氏
5	1 0 月 2 1 日	日常生活における仏教語について	福生院住職 神 谷 宜 徹 氏
6	1 0 月 2 8 日	市の土木事業について	市、土木課長 下 野 利 市 氏
7	1 1 月 1 1 日	市の最近の農業について	市、農業委員会会長 田 村 彰 一 氏 他
8	1 1 月 1 8 日	私の履歴書について	市、教育長 来住野 和 也 氏
9	1 1 月 2 5 日	家族について	笹本エバァリン氏
10	1 2 月 2 日	人生流転について	岩 澤 清 松 氏
11	1 月 5 日	青梅市の寺社、史跡見学（バスツアー）	立 川 愛 雄 氏
12	1 月 1 3 日	反省会	立 川 愛 雄 氏

人生を唄おう会

歌うことや、仲間同志の活動を通して、活気ある自己とリズムカルな生活づくりを目指し、次のとおり実施した。

期 間 平成6年9月6日～平成6年12月2日

会 場 本館及び白梅分館

参加者 全12回、延べ488人

回	月 日	内 容	講 師
1	9月 6日	自己紹介 オリエンテーション	ピアノ及び 歌唱指導 山下やよい氏
2	9月13日	発声、懐かしい曲 思い出の歌 各 曲	
3	9月20日		
4	9月27日		
5	10月 4日	文化祭「音楽のひろば」選曲、練習 三館合同	
6	10月18日	「歌い語りの集い」練習	
7	10月25日	コーラス合唱練習	
8	10月30日	市民文化祭 音楽のひろば出演	
9	11月15日	コーラス合唱練習	
10	11月22日		
11	11月29日		
12	12月 2日	人生唄い語りの集い出演	

さつきひろば

“高齢期を楽しく元気に生きるまち福生”を目指した事業『寿市民ひろば』の一環として、松林分館では『さつきひろば』の名称で行った。

期 間 平成6年9月8日（木）～12月8日（木） 全10回

会 場 松林分館

参加者 延べ288人

月 日	内 容	講 師
9. 8	内容紹介、自己紹介、語り合い	榊原あつ子氏（スポーツ指導員）
10. 6	若さを保つ体操	柴田 繁氏（陶芸家）
10. 21	陶芸教室	〃
10. 28	〃	〃
11. 11	〃	〃
11. 18	〃	〃
11. 25	〃	〃
12. 2	〃	〃
12. 3	〃	〃
12. 8	高齢者と家族について	平湯紘一氏（「母と子」編集長）

8. 市民会館主催事業

(1) 大ホール事業

公 演 名	公 演 日	入場料金	入場者数
堀内孝雄コンサート	7 / 1	5, 500円	910人
藤原真理&清水和音ディオリサイタル	9 / 3	2, 000	285
鮫島有美子ソプラノリサイタル	11 / 10	2, 500	477
福生寄席 志ん朝・仁鶴二人会	1 / 28	2, 000	848
ふっさ春の第九	3 / 26	2, 500	773

(2) 小ホール事業

公 演 名		公 演 日	回数及び入場者数
王莉・中国琴コンサート		5 / 14	1回・260人
湯川あきシャンソンコンサート		2 / 25	1 ・ 260
市 民 名 画 劇 場	ラスト・アクションヒーロー	5 / 21	2 ・ 270
	フィールド・オブ・ドリームス	7 / 9	2 ・ 199
	美女と野獣	8 / 20	2 ・ 520
	フォーエヴァー・ヤング	9 / 17	2 ・ 281
	ザ・シークレットサービス	10 / 15	2 ・ 258
	男はつらいよ・寅次郎の青春	11 / 12	2 ・ 241
	逃亡者	12 / 17	2 ・ 326
	四万十川	1 / 21	2 ・ 283
	許されざる者	2 / 18	2 ・ 251
	釣りバカ日誌5	3 / 11	2 ・ 170